(年中無休刊(日曜日翌日休刊)) 大正七年七月九日 THE KEIJO NIPPO (明治三十九年八月十一日第三種郵便物認可) 第三千八百七十六號 (一)

京城日報

本紙定價 一ヶ月七拾五錢 ▲參ヶ月前金貳圓拾五錢 ▲六ヶ月前金四圓拾錢 ▲壹ヶ年同八圓 ▲郵税一ヶ月拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料金 一號七字詰一行八十錢 ▲二號十五字詰一行三十錢 ▲同一行四十錢 ▲同一行六十錢 ▲四號九字詰 ▲同十七字詰八十錢 ▲同
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用六千九番 守衛用六千九番 振替京城三〇〇〇番

七月八日夕刊（朝夕併せて八頁）

○軍事防禦令

聯合國は浦鹽に日、支、米、英、チェックの軍事共同防禦令を布けり(浦鹽電報)

○兩政府援助契約
反勞農政府暴動起る

莫斯科來電!!!ドン哥薩克、イバン哥薩克兩政府の間に勞農政府に反抗し双互援助の契約成立し、南部露國各州の聯邦制度組織の事考慮せられ居れり尚中央露國地方及びウファノスラタウスト地方に反勞農政府暴動起り勞農派は孰れも解散或は捕縛されたりと(倫敦電報)

○チ軍赤衛軍襲撃
チ軍ニコリスク入城準備

浦鹽電報 チェック大本營に達せる電報に依れば四日チェック隊はニコリスクの赤衛軍を不意に襲へるが敵は五日朝未明より倉皇鐵橋を破壞して北方に撤退せり遺棄せられたる屍體多數あり敵軍にはベルムトムスクより來れる革命義勇軍マジャール人多數あり、獨逸將校は裝甲車を指揮せりとチエック隊は目下ニコリスクに入城の爲め鐵橋を修繕しつゝあり(浦鹽電報)

○カルロコフ軍チ軍聯合成る

五日ボグラニチナヤよりの來信に據ればカルロコフ軍とチエック軍との聯合成立しチエック軍委員は哈爾賓に向へり特別報にはグラデコフにはチエック軍近亡の士官とハレカ司令の下に千名の兵士あり、中三百名は水兵百八十名はチエックの軍なりと而して過激派軍はニコリスクへウスリースキー及びグラデコフに對しチエック軍米軍と共に來る可しとて狼狽し居れり(哈爾賓電報)

○チ軍援助要求

浦鹽を占領せるチェック軍は同地聯合國領事團に援助を求め來れるが領事團は對應策を講ず可く連日會議を開催し居れるもチエック軍援助に關しては未だ何等決定する所なき模樣なり(浦鹽電報)

○新政府物資供給拒絕

西部西伯利にて政權を掌握したる新政府は歐露への穀物輸送に關する切なる要求を拒絕しレニン政府を顛覆し過激派の權力を一掃する迄は物資の供給を爲さずと聲明せり而して歐露は今や糧食に窮して餓死するもの頻々たりと(哈爾賓電報)

○米軍敵逆襲擊退

三日朝敵は密集部隊を以て ヴォー及びボアデラロペに於ける米軍の新陣地に對し逆襲を行ひたるも猛烈なる砲擊にて擊退されたり(倫敦電報)

○英軍三哩前進

英軍はアメルニヤ正面に於て三哩に亘り前進せり(倫敦電報)

○巴威耳旅客制限

東京着電!!!巴威耳王國にては外國人の交通に制限を加へ食物を節約する爲め特に許可を受けたる者の外三週間以上の滯在を許さず旅館收容定員も半減し旅人下宿にも制裁を加へたり(東京特電)

○土耳古皇帝薨去

土耳古皇帝モハメッド五世は四日薨去せり(アムステルダム電報)

○新國會議員數

政府の觀測に依れば、安徽、兩廣、四川を除き新國會議員數は參議員百四十二、衆議員三百二十五、合計四百六十七名なるを以て無論兩院共成立法定數を超過すべく總統選擧會成立定數四百二十九名に對し三十八名の超過なりと尤も右の内には選擧を執行せざる湖南省の分を含めるも同省選擧も政府豫想通り執行せらるゝ事を疑はずと(北京特電)

○龍濟光出發

龍濟光氏は五日夜奉天に向け出發せるが同地にて張作霖氏と會見し武器の供給將校の傭入等に就き協議す可しと(東京特電)

◎上海支店

中日實業銀行は八月一日より上海に支店を設置し業務を開始すべしと(北京特電)

○取引所監察

農商務省商工局にては新に書記官三名をして取引其他市場の監察に任ぜしむる事とせり(東京特電)

○仲買委員留任

大阪堂島仲買委員の總辭職は留任に決したるも解決困難にて八日の立會も停止せり(大阪特電)

○勝田男薨去

退役陸軍中將貴族院議員男爵勝田四方藏氏は七日神戶にて薨去せり享年七十四歲(神戶電報)

○岩崎男一行著釜

岩崎男一行は七日午後七時著釜將に紀船新羅丸にて歸東の途に就く筈なりしも濃霧の爲め同船の出港未定なり(釜山特電)

○臺灣教育視察團

臺灣小學校鮮滿教育視察團十五名は八日午前九時半來安視察の上一泊九日朝奉天に向ふ筈(安東特電)

●●●居中調停如何

アムステルダム電報に依れば和蘭、西班牙、瑞典、諾威、瑞西の五箇國は居中調停を提議すべしと稱せらるゝが某外交通の觀測に依れば西班牙は今日迄嚴正中立を維持し來り乍ら動もすれば獨逸側に好意を有し過般墺國大使が同國外相を訪問せし際も直ちに講和斡旋の依賴なりしと解せられたる程なるが瑞典諾威等の中立國は戰爭永續に連れ益々其の立場に困難を感じ來り殊に船腹四十萬噸を聯合國側に提供し食糧及び工業原料品の供給を受け一時焦眉の急を救はれし事ありしほどにて一般に講和を熱望し居ることなるべく何れにしても中調停に當るやも知れずと

◉米海軍計畫
總額三十二億圓

米國下院は十六億一千萬弗の海軍經費案を可決し裁可の爲大統領の手許に廻附せりと報ぜらる該案は昨年十二月五日議會に提出せられたる一九一八年七月一日より一九一九年六月三十日に至る

▼戰時海軍豫算
にして最初政府の提出せる總豫算額は十億餘萬弗なりしが本年二月二十日下院は更に二億三千餘萬弗を追加し之を以て目下建造中なる諸艦艇の竣工期日を繰上げると同時に內一億弗を以て驅逐艦以下の建造並に兵器軍需品費に充當する事と爲せり然るに下院委員會に於ける査定額は十三億二千五百萬弗に增加せられ內一億弗を以て驅逐艦以下の造艦費に充當する事は追加案通り承認したるも航海費は一億八千八百萬弗に倍加せられたり斯くて四月廿一日下院本議會に於ては

▼討議僅に二日
にして更に五千七百萬弗を增加し總計十三億八千五百萬弗を可決し直に之を上院委員會は下院案に對し更に二億餘萬弗を增加し既定三年計畫に依る第三年度の戰艦三隻巡洋戰艦一隻及び偵察巡洋艦三隻を起工(一九一九年度は繰延の豫定)し豫定の如く其造艦を續行する事を議決し上院は五月廿三日全會一致を以て委員會案を通過せり此結果該案は

▲兩院協議會に
移され三年計畫に依る前記造艦は遲くも一九一九年六月末日迄に起工すべく之が爲政府をして新に三千萬弗の造船物資を提出せしむる事とし同修は上院通り可決したり即ち其總額は十六億一千餘萬弗と爲り七月一日上下兩院共協議會案通り即ち總額十六億一千萬弗可決せり要之增加經費の重なるものは起工繰延の豫定なりし同計畫に依る第三年度造艦を續行すると一方驅逐艦以下の艦艇急造の結果にして米國議會が常に政府を督勵して海軍力增勢に全力を注ぎつゝあるは頗る注目に値すべく大統領は無論之に裁可を與ふべしと云へり

◉當時の浦鹽
某歸客談

浦鹽より歸客談に曰く浦鹽事變後チエッツ、スラヴアック軍の一部は同市の守備に任じ一部はニコリスク方面に向つて進軍せるが同市に於ける赤衛軍は其抵抗にて三日平定し赤衛軍はアラストヌイに於て約一萬のチエックを喰止めつゝあり此の風說あるが南軍の大會戰は多分ハバロフスクに於て演ぜらるべく豫想されたり事變當日チエック軍に對し米國軍艦よりも陸戰隊を上陸せしむべき交涉ありしも同國の態度曖昧なる爲め之れを謝絕せりとの風說あり又チェック軍が獨逸人經營に係る同市の唯一の百貨店クンスト、アルベルス及び食器類店ランゲリーチ商店搜索の際多數の兵器を押收せしのみならず潛伏し居れる獨逸將校數名を拘引するこ共に護衛兵を附して嚴重に警戒しつゝあり過激派は首領株の立籠りし要塞參謀部がチエック軍に包圍され降伏を餘儀なくせられし爲逸に一網打盡の運命に遭ひ當日同軍の護衛兵に擁せられ其本部に送られし途中群集より鐵拳の雨を浴び何れも面を歪めて引立てられしのみか甚だしきは同派に同情せる婦人迄が衆首の側杖を喰ふに至れり斯くて過激派本部に在し黨員名簿をチエック軍に押收されし結果同黨員は名簿に依りて日々逮捕されつゝあり去れば昨日迄過激派の名の下に意氣揚々市中を濶歩せる者も直に新政府の徽章たる青の…

◉新築さるゝ南大門驛
提出案詮議中

南大門驛新築に關しては目下鐵道局に於て滿鐵京城管理局よりの提出案に就き詮議中にて本年末には起工の運びに至るべきが未だ案の內容に就ては知るを得ざるも新築に就ては種々の希望意見あり京城の將來が百萬二百萬の大都市とに分大規模の意見もあれど要するに京城の可しとは考ふる能はず結局約二百七八十萬圓の經費を以て新築せらるゝこと、なるべく場所は現在の所にて驛後の河川は暗渠とせず川の位置を變更して地積を得る事となる可しと

◉辭令傳達式擧行

總督府にては九日午前八時より豐永眞里博士外四十八名に對し辭令傳達式を擧行すべし

◉郵貯特別扱規則

九日總督府令を以て府又は府の區域を包含する學校組合公金受拂に依る郵便振替貯金特別取扱規則を發布し即日施行さるべし

▲殖產銀行設立彙報
株式募集 條件

朝鮮殖產銀行の株式募集は本紙屢報告前の如く內鮮滿各主要地に於て行ふ事となりしが條件左の如し

▲資本金 一千萬圓
▲一株の金額 五十圓
▲募集株數 十三萬六千四百三株(總株數二十萬株の內銀行令に依り二十四萬株込殘銀一株に付五十圓株一株を割當つべき六萬三千五百九十七株を除きたる殘餘)
▲應募者資格 帝國臣民又は帝國法令により設立したる法人若くば公共團體
▲申込期間 七月十六日より同十八日まで

▲申込證據金 一株に付三圓、募入の場合には證據金は第一回株金拂込金の內に振替ふ募入外れの場合には確定後直にその旨を通知し證據金を返戻すべし
▲申込手續 株式申込株二通に夫々記入し又別に印鑑用紙三葉に同一の印を押捺し申込株數に相當する證據金を添へ取扱店に差出す事
▲募入決定方法 申込株數が公募株數を超過したる場合は七月十日現在農銀各株主の申込に屬するものゝ內その所有の農銀株式數より法定割當を受くべき朝鮮殖銀株式數を除きたる殘餘の株數に相當する申込株は優先に募入しその殘餘の分は按分して募入額を定むる事
▲第一回拂込金額 一株に付廿圓
▲拂込期日 八月二十日
▲政府の配當保證 向ふ五年間は政府にて民間持株に七分の配當保證をなせり

▼募株扱銀行

募集取扱店は內地に於ては日本興業銀行第一銀行朝鮮銀行三十四銀行第三十銀行の東京大阪京都神戶名古屋廣島下ノ關熊本函館各本支店朝鮮にては朝鮮殖產銀行漢城銀行朝鮮商業銀行韓一銀行各本支店出張所各農工銀行の京城本店及大邱、十八、百卅銀行支店を網羅し殆んど全鮮の主なる金融機關を擧げて其の取扱をなす事となり居れるが滿洲にては朝鮮銀行各支店出張所にて取扱ふべし

▼好放資物

募集成績は前報の如く要するに五年後は確實に事業の進展により配當加算を見るべしこの觀測行はれ居り且つその基礎の鞏固なる點に於ては何人も些の疑ひを挾まざるに付好個の放資物として一般の氣受け悪からざる如く期日前なるに拘らず殖銀設立事務所に申込書の送附を求め來る者頗る多く申込期日を早くも豫想すれば八分に預入し置くより殖銀株式投資は有利なりと云ひ得べく若しく六分に預入し置くより…

▼期間前取扱

朝鮮殖產銀行株式の公募は十六日より十八日までとなり居れるも若し期間前と雖も各取扱ひ銀行は便宜上株式申込の取扱ひをなす由なり

◉公設市場と警察の取締 (一)

屢報の如く京城中央公設市場問題は市場條規案及び收支目論見書の發表を見、既に京城府に移讓せられ其後當局にても之れが實現に就て著々步武を進めつゝあり此の上は只

▲當局の斷行
と市民の援助に俟つべき而已なるが更に商業會議所の希望を聞くに由來公設市場たるや種々の點に就て警察の援助に俟つべきもの多きは言ふ迄もなく或は衛生方面より或は秩序の方面より或は不良の徒の出入を取締る點より所謂警察行政の範圍に屬すべきもの多く勿論此等の事項は市場自ら取締を嚴にして以て警察と協力すべきものなるも公設市場は更に進んで警察の援助に俟たざるべからず公設市場には簡易なる設けをなし生產者と商人又消費者この

▲直接取引の
便に供する計畫にて其目的とする所は專ら生產者と消費者との利益を計り且つ一方には市價の統一し商人の暴利を牽制せんとするものなるが故に郊外より京城に搬入せらるゝ野菜果物の如きは悉く此處に集め以て其の市內の需要も亦此處に集め以て其の間市價の調一を期せざるべからず若し此の事にして失敗に歸する時は折角公設したる意義の半ばを減却せらるゝものと謂はざるべからず此の事たるや偏に警察の援助を得て始めて實現せらるゝものにして從來の習慣こ市中に散在する私設の市場は公設市場設立後と雖も尙ほ生產者を吸引するの力を有し廣場は空しく

▲其利用を
見ずして止むべく現今所謂野菜果實等の生產者は朝に南大門內又は其の他の場所に蝟集し仲買又は問屋と取引されつゝあり交通未だ頻繁ならざる時さへ云へ道路上に於て喧噪を極むるは他人の安眠を妨ぐるのみならず苟くも廣場を其の爲めに公設したる以上は許すべからざるの行爲と謂ふべし且つ現在に於ては此の取引時間に遲れたる生產者は多く其の値段を踏み倒されて生產費…

▲取引値を以
て商人に買取らしむるか又は廣場に開店して消費者の購買を待たしむべきよりは一旦公設市場を開市したる曉には京城市內に搬入せらるゝ食料品は悉く警察力を以て廣場に集合せしむるの方法を講ずるを得策こすべく換言するに警察は從來默許したる道路上の取引を禁ずべき命令の發布を以て此の目的を遂し得べき事明かなり

すら償ふ能はざるの狀態に在り斯くの如きは正に公設市場に於て救濟せざるべからざる事柄なりとす即ち市場は其の日の…

◉西鮮の農況
足立東拓殖產課長談

黃海平南兩道に出張中なりし東拓支店殖產課長足立丈次郎氏の農況談に曰く西鮮方面は降雨多量にして天候良好なるため挿秧狀態甚だ佳なり沙里院より海州に至る間の如き山間部と雖も夙に植付を了し居れり唯安岳方面の高地は聊か用水不足の模樣ありしも今回の降雨にて多分植付も終了したるならん又平安南道も植付用の用水は十分なりし由なり唯降雨後に到り各地共大ひに挿秧を急ぎたる結果麥の收穫は聊か時期を失せし觀ある如きも但し平南本年の麥作は稀有の好況を呈し平年の三割增と稱せられ黃海道平野の麥作も平年作を下らざるもの如く素より悲觀の必要なし尙は農民は何れも天候の順調を喜びつゝあり

◉光州市況閑散

光州にては米穀の出盛り期に引續き雜貨の移入旺盛を極めたる結果市況一時繁忙を呈せしが昨今に至り農繁期に出りしこととて附近鮮人の出市殆んど皆無の狀態なり從つて市況も至つて閑散の狀にあるは每年の例にして敢て怪しむに足らざるが如く同時に金融は稍緩漫を極めつゝあるがやがて新麥の出廻りを見るに至らば市況漸次活氣を帶び來ると共に新規資金の需要を喚起するに至らんと

◉仁川期米暴落

大阪期米市場大暴落の餘波を受け仁川取引所の八日前場は先限二十一圓九十五錢と六日後場に比し十一錢安に寄附きたる結果九月限は一部の投げ招致し人氣沮喪し現貨物多く忽ち二十一圓十五錢と實に寄附より八十錢の大暴落を演出したるため二節以後取引を停止し尙ほ追證を徵收し市場を整理せば又復再會すべしとの事なり

◉道府尹郡守會議

京畿道府尹郡守及び府郡財務主任會議第一日は八日午前八時より道廳會議室にて開催し松永長官の訓示並に府尹郡守の管內狀況報告ありたり

◉全北自動車出願

成河氏は井邑、金州間の自動車營業を出願中なり

全北在住の高美金純中氏は高敞井邑間の自動車運轉を又茲仁作般…

◉軍司令官動靜

朝鮮軍司令官は六日部隊巡察中の松川軍司令官は六日楚山著六七の兩日同地に滯在し八日碧潼に向け出發の豫定の旨七日軍司令部に電報ありたり

◉立花師團長出張

第十九師團長立花中將は八日朝八時五十分龍山驛發列車にて水原に向へり

◉有松長官入京期

法務局長官有松英義氏は八日午後安東より平壤に著一泊の上九日午後七時十五分南大門驛著入京すべし

◉嘉納鮮銀副總裁

朝鮮銀行副總裁嘉納德三郎氏は來る十三四日中東京出發京城に來任の旨鮮銀に通知ありたりと

●川上理事嚴父逝去

東洋拓殖理事川上常郎氏の嚴父與吉翁は久しく病中なりしが七日病勢革まり午前十一時愛媛縣宇摩郡二名村字川江の自邸に逝去したる旨東拓支店に…

◉京仁間割引

京管局にては海水浴場遊び等のため仁川に往復する旅客の便を計り七月十一日より九月十日まで南大門驛にて往復割引回數乘車券を發賣すべく通用期間は發賣の日より九月二十二日迄有效なりと尙右回數乘車券は南大門仁川兩驛に乘降するものに限り有効にて其他の驛に乘降したるときは無効となるべしと

◉群山港經濟狀況

群山港に於る六月中の經濟狀況を聞くに梅雨季に入ると共に穀類米の流出を懸念し一般に減退し與商人は貯藏米の地出穀を急ぐあり商人は貯藏米の變質を憂慮しつゝ市場之が逃げ場を求むるが每年の例なるにかゝはらず本年は之れに反し飽迄出港の狀態にて未曾有の高値に誘引せら…

◉造船界傾向

▲濫造船防止
先般海事部長會議の結果粗製濫造船防止の爲め建造中に海事官を派遣し嚴密なる檢査を爲さしむる事となれる由なるが元來造船には組立ての時期に監督を要くる必要あり尙造船所にては現に實行しつゝあるが只海事官の駐在せざる土地にては少しく困難なるべしと思はる

▲混凝土船
鐵筋混凝土船は造船界の新傾向とは波止場の浦棧橋のポットンには混凝土を使用し居り先に米國に出張したる三菱の三浦技師は專門に調査に就ては相當に考量を費し現に大阪に於ては數年前より此れるが當所に於ては數年前より此…

…査研究し來る筈なり只混凝土船の完成せる時は造船界に於て大なる影響あるべく鐵の節約を要するは勿論なるが元來造船には…十分の研究を要する點は接續の場合その彈力抵抗力の强弱如何にあるが未だ完全なる判斷はつき居らず竹筋混凝土は淡治鐵山にて專賣の如く賣居れるも當造船所にも大正四年既に艀舶工場の艀に…

▲標準船型數
今回遞信省にて船舶標準型を決定する事となり當造船所提出の型も三項採用されたるが當所にては千二百噸の小型と除き普通六千三百噸八千四百噸、一萬千噸の三型を使用し居れり遞信省採用の型數は少し多過ぎる樣に思はる英國にても標準型は五種位なりと記憶す當所にては最近八千四百噸型の艤に更に積載量を增大し得る研究をなし居れり

▲下受工場難
標準型決定の曉には鐵板の厚さその他各種の統一せる材料を以て各型の船舶に流用し得る便あるが現今船舶材料の外國注文は輸送に時機を失し困難多きより下受工場の援護を見ば非常に便利なり只折角注文して時日を空費し居れば十分に提供する考へなりしも中途引受けて間に合はず…居れり

…不便少からず若し約を守り德義を重んじて健實なる作業をなさば其仕事は十分に提供する考へなり

▲製鋼所擴張
船鐵交換による鐵材の到著は二ヶ月位遲れて十月頃に到著すべし尙造船所に於て三日前進水せる七郎丸の後には輕巡洋艦多摩の龍骨を直ちに据付る豫定なり大型驅逐艦平風は追々竣工に近づきつゝあり大阪商船のヒマラヤ丸は本月末進水の豫定也、又浦上に工事中の製鋼所は本年中に一部の工場を運轉せしむる計畫なれど到底困難なる可し材料は二浦よりの銑鐵を使用すれども七分通りは造船所に使ひ盡して居るので現下餘りに集荷し居りて工場も漸次擴張する豫定なり(長崎三菱造船所江崎博士談)

茶前酒後

◎西伯利の軍事も全然一致の行動に非ず兒築親大公の復辟を助る者に内には逃亡して各人種と行動する別働隊も在て思ひ思ひの行方也

◎然ども何も其の目的とする敵は獨墺側過激派に從て過激派をも敵とす

◎東西西伯利兩政府は合併して合同運動をなすべしと稱見るべきか

◎罷東若加軍を援助せば此處にも獨墺側聯合軍の戰となるは當然

◎氣乘り好況に外部より指揮すと拔け

◎吐露兒浦鹽に來り米國に逃亡すべしと傳へらる

◎敵も味方も落ち行先は九州佐渡

◎日の無事戰何故に極東に來らずや

◎西 西伯利新政府は露國より穀物輸送の申込を跳ね付けて應ぜず

◎冷人政府や過激派を兵糧攻めにするも一策也

◎支那政戰に於て何と云ふも第一の強…

◎革命非革命過激反過激の鉢合せ

◎策士の跳梁と孫君の活動が赤裸々に現れ來るは孫君の病み北方の筆策

◎北洞子で進まば新國會議員など

◎隣邦が金儲に熱中し官憲の目を偸む

◎醫師の此無法は病菌を散布する偸傳染患者を誤魔化すは言語道斷

◎醫師に金儲無用と野暮は云はざるも醫師道德を嚴守せよ敢て勸告す

◉阿部前社長發期

阿部前社長は愈々十日午前八時四十分南大門驛發列車にて出發歸東す可し

◉加藤社長東上

本社長加藤房藏氏は社務を帶び九日朝南大門驛發列車にて東上の豫定なり歸京は多分今月末或は八月初旬こなる可し

●郡守の出發

開城內地人郡守を置かる事と成り山崎三郎氏開城郡守に任命されたる結果前郡守金然商氏は漣川郡在勤こ成り去四日午後出發したるが見送りの人多數なりき

◉記者懇話會例會

既報の如く京城記者懇話會第三次例會は七日午後六時半花月にて開會されたるが出席者三十餘名定まるや石森幹事の開會の辭に次で諸般の報告あり終つて宴に移り十二分の歡を盡して十時過ぎ散會せり

人事消息

▲前奧列事 高等法院より大邱覆審法院部長に轉任せし同列事は九日午前八時四十分發列車にて赴任の筈
▲朝倉鑛四郎 所用にて大阪に出張中なりしところ七日夜歸京
▲金曾仁作氏(代議士) 八日朝入京巴城館へ
▲是立丈治郎氏(東拓殖產課長) 西鮮出張中の所七日夜歸任
▲總督京城地方法院檢事正 管內巡閱中のところ七日午後歸任

蘇山

一逢一別送迎頻。不堪今宵苦衆辛。會洞旅家三伏暑。他鄕又送故鄕人。送阿部無佛先生歸東

大正七年七月一日改正實行

◇雑魚すくひ 八日雨の霽れ間京城西郊外にて

妾腹の子の大詐欺(三)

百萬長者閔泳達の悴閔明植 惡事の露顯を怖れて自殺を計る

◇明植は三年、明均、穎善は各有期附帯は末森の敗訴

以上の如く閔明植は僞造證書の印章や文書を以て末森より二萬五千圓ご李恒九より三萬五千圓を詐取したるも實際に手に殘りたるは一萬圓足らずにて僞失も六千五百圓は呉穎善より小枝を裂かれし爲め殘る所なき上に是等の事情を知りたる例の

▽浮浪の徒が 甘い物に集まる蟻の如く附き纏ひ閔明植を强請り上るこいふ始末にて閔明植はかゝる大詐欺を働きながらも忽ち元の木阿彌ごなりて亦々生活に窮する一方兎もすればかすかすの惡事が發覺して後に手の廻り相な恐怖こにより全く進退谷まりてか旣に彼れが鍾路警察署に逮捕さる、一兩日前のこご淸進洞の妾宅にて妾安英子の隙をうかゞい細紐を懸けて

▽縊死を企て 人事不省に陷り居るを英子が發見し直ちに抱へ下して應急手當を加へたるため辛くも蘇生したる事實あり斯かる模樣にて留置取調べ中も見張りの警官は寸毫も油斷ならざりしが遂に身柄は一件書類ご共に京城地方法院檢事局に送られ事件が頗る錯綜して居るこ關係者が意外に多きこ爲豫審に附されて前後十五箇月間の

▽拘束の身こ なりて取調を受けたるものにて尚檢事の起訴に依り豫審に附せられし關係者は前記の李明均、呉穎善の兩名及び元憲兵軍曹なりし某内地人ご元工兵中尉にて金鵄勲章をも所持し居る某内地人質屋業者の兩名ありしが憲兵軍曹の方は豫審終結の際免訴放免こなり工兵中尉は公判に附せられしが

▽無罪の判決 こなりたり而して事件は昨年十二月二十二日豫審終結の上田中裁判長川野邊陪席判事擴檢事立合ひの上公判に附せられしが數次の公判開廷中に何人或は證人こして喚問されしもの數十人の多きに達し途中にて假說をなす者ありて事件は又も一時中止こなりて豫審に逆戻りこなり其の取調べを終へて更に

▽公判を開き たる次第にて此の事件に出廷し辯護の任に膺はりたるは大久保、安住、松本、赤尾、内田、淺倉、武智、木尾兄弟、小川、鄭求昌諸氏の内鮮人辯護士十一名の多數にて偶々事件進行中末森及び李恒九兩氏の被害者同士間に損害賠償の附帶私訴起り原告李恒九氏は松本辯護士を代理人こし末森氏に對し二萬五千二百圓の

▽支拂ひ方を 請求するに至り末森方は大久保辯護士を代理人こして之れに應じ互に係爭するに至り一方閔明植以下の刑事被告事件も漸次進捗して此の程田中裁判長より閔明植は懲役三年(求刑四年)李明均は同じく一年(求刑一年)呉穎善は二年(求刑二年)米中尉は無罪(求刑懲役六箇月にて執行猶豫)の判決こなり別の民事私訴事件は

▽原告李恒九 の請求は理由あり法律上二萬五千二百圓の金は末森より李恒九に支拂ふべき義務あるものご認められて原告の勝訴に歸したる判決こなりたり右に就き被告人側は李明均のみは上訴權を放抛して服罪せしが閔明植、呉穎善の兩名は不服にて控訴し一方

▽私訴の判決 に對しては被告側なる末森に於て不服こし何れも京城覆審院に控訴を申立たり(をはり)

◆東宮殿下御動靜 東宮殿下には七日緯度觀測所、義經室等御見學の後平泉村中尊寺へ成らせられたり(森岡電報)

夢の樣です=石戸氏還る

浦鹽强盜事件の傷が癒つて……

◇チエツクは各方面によく活動す

四月八日强盜に襲はれて重傷を蒙ひ危く一命を取止めたる浦鹽市マリステルスカヤの貸自動車業石戸商會主石戸發一(三三)は最早全快し創もスツカリ癒たれば約一ヶ月半郷里美作にて靜養の爲め五日入港の鳳山丸にて

◆敦賀に 着せるが氏は語つて曰く强盜事件から端無くも陸戰隊上陸の動機を作り私の犧牲に成つた事など今から追懐するこ全く夢のやうです過激派ごチエツクの市街戰の當日ですか……私はウツカリ戸外に飛び出して又

◆二の舞 を演じて皆樣に心配を懸けては申し譯が無いご思つて私はチツト二階に閉ぢ籠つて居ました私の愉快に聞いて居ました加害者は四人の中二人だけは既に檢擧されましたが殘り二人は未だ行方が知れず探偵局にては全く苦心して居るやうですこころが私が今度歸鄕に際して鳳山丸出帆當日即ち三日朝

◆チエツク こ探偵こが一所に宅にやつて來て五人の嫌疑者を捕へたから是非共見に來て呉れこ云ふので自動車を飛ばして見分に行きましたが確こ解りませぬが其中に一人は私が見覺のある顔に能く似て居りましたので其旨を云ふて置いて私は

◆歸つて 來ましたチエツクは斯う云ふ方面に迄活動して居ましたには私も非常に感心しました(敦賀)

釜山濃霧 連絡船入港せず

釜山港は七日午後五時より濃霧かゝり初め同七時頃は海陸共最も厚く市中の如き一町先の電燈は朧に見ゆるために七日夕發の新羅丸は港内に碇泊し出港せず高麗丸は港外にあり入港せず列車は旅客の連絡を見ず北行す可し(七日午後十一時十五分釜山特電)

多島海は魔の海

頻々たる汽船の遭難 ◇航海業者は怖れてゐる◇

五六七月の多島海の航海ほご恐怖に充たされたものはあるまい殊にこ激潮こ夫は多島海の恐るべき神の使ひである、先月三日市吉島の長崎丸九日苔島の鹿港丸十一日珍島長竹水道の大運丸の坐礁に續き卅日九里島の晋羽丸の沈沒こ此

▽魔の海 の物狂はしい惡戯を見よ實際南朝鮮の岸を廻る多島海航路は日本有數の難航海こして航海業者から恐れられて居るその爲内地ご大連支那方面ごの重要航路に當つて居るので多島海を通る船舶は隨分多數なものだが

▽濃霧季 には艀橋から船首さへ見定められぬ事が往々ある殆ご盲目に等しい航海を續けて行くこ此海には目まぐるしい多數の島こ海圖に現はせぬ不規則な激流こがあつて兎もすると船の針路を誤らしめ綴航しつゝあつた島や暗礁に船を衝突せしめずには置かない航海業者は濃霧の場合には必ず船の

▽速力を 緩める殆分なりこも危險を避けんごする用意なのだが多島海には例の海流にさへ現はせぬ激流が渦卷いて居るので却つて速力を緩めた船は潮に押し流されて危險を增す速力を緩めなければ幾多の島嶼暗礁ご何時衝突するかも分らぬご云つた進退兩難の魔の海である

汽車と自動車の衝突 重輕傷三名

七日午前零時半上野驛附近踏切りにて青森發貨物列車ご吉原歸りの客を乘せたる自動車衝突し乘客三名は重輕傷を負ひたり(東京特電)

無線電信事件 後報

既報鳳山丸浙江無線電信局長の違反事件は原因舞鶴電信局この感情衝突にあるもの、如し(大阪特電)

首相夫人快癒

昨年十月來重症の腦膜炎に罹り一時危篤に瀕したる寺内首相夫人は其後漸次快方に向ひ昨今醫師より隨時轉地靜養をなすも差支なしこの許しを得る迄に快癒したる旨京城知邊の向々へ兩三日前消息ありたる由

太刀魚の鱗で人造眞珠 全南羅老島にて

近來太刀魚の鱗を原料こして眞珠を製造するこご發明されこの人造眞珠が一部裝飾用こして多方面に歡迎されて居る而して其の原料が全南高興郡羅老島に豐富なる爲め大阪市の岡本富吉(三八)瑠野種吉(三五)の兩名が羅老島に來て六月九日より二十八日迄に三百三十[illegible](千六百五十圓)を採取し試驗的こして大阪に送り出したのが製法の順序を聞くに先づ太刀魚の鱗を揮發油に浸し時々攪拌しては沒油のを待ちて他の器に移して更に揮發油詰めこして荷造りするものなりこ斯く精製したるものが時價一匁五圓こして取引されて居るので目下内地を初め南洋方面に販路が擴張され一年の輸出額五十萬圓を下らぬ由であるそして是が原料採取地は羅老島が最も好適の地こ目され近く大規模の採取に着手されるだらうこの事である

兼二浦浸水 浸水家屋六十

三菱製鐵一部休止

七日夜來兼二浦方面には暴風雨襲來し今尚降雨止まず市街家屋六十戸浸水し爲に商業は休業同樣にて尚三菱製鐵所も一部事業を休みたり(兼二浦特電)

二名行方不明

慶北高靈郡茶山面にて四日午前十一時堤防決潰して朝鮮人男二名行方不明こなれり

京城府の傳染病

パラチブス一日四十三人の恐ろしい記錄 まだ府内に三百五十二人のパラチブス患者がある

◇これから赤痢の時季になる

京城府衛生係の調査に據つて京城龍山方面の傳染病狀況を聞くに目下は各方面こも稍や鎮靜の狀態を呈して來たらしい丁度六月の一日から九日頃迄は腸チブスの患者が每日三四人は發生してゐる其れから十一日頃になつて稍下火の有樣を呈し十九日頃迄には再びずつこ四日には六人位の新患者を出し

◇患者數 を増加して二十た其れから漸次消滅に近づいて六月の三十日には一人の新患者も發生しなかつたのであつて現今に至る迄は其の經過至つて良好だご云ふ事である目下の狀況は腸チブスのみであつたがパラチブスに在つては否月の一日から十三日頃迄けては

◇新患者發生數に 一高一低を示して進んで來て十三日に十四人の發生より更に十五日に至り廿人の新患者を出し一高一低裡に進行を續けて居たが二十八日には各警察署で病院内を隔り出した結果届出でない患者等を合して一日の内に四十三人こ云ふ恐ろしい新患者發生數を示したそれから依然新患者は其

◇發生數 を減少するに至らず二十九日に二十八人三十日に二十人を示し漸次新患者發生數を減少するを得て現在に於ては經過良好、新患者數が本町署管内に五十二人、鍾路署管内に二十七人、龍山分隊管内に二百七十七人合計

◇京龍間に三百五 十二人のパラチブス患者を殘して居る譯こなつてゐる腸チブス患者は七月一日現在の調査に依れば本町署管内に三十五人、鍾路署管内に二十九人、龍山分隊管内に十一人合計京龍間に七十五人を殘して居るのである、

◇六十九 名でパラチブス患者數が來本年一月一日から五月三十一日迄には腸チブス患者數が患者九名合計七十八名を算するに過ぎなかつたのであるが季節の移行上六月からずつご其の計數を增加したる事は亦已むを得ない災禍であるけれども一般府民の傳染病豫防警戒の程度奈何にも關聯してゐる事だから

◇注意が何より肝 要であらう尚ほ是れからは赤痢の時季に這るから便所其他の消毒は勿論雨期の事であるから各食料品に注意を加へねばならぬ尚ほ患者快復のものは其の便所の如きに對して少くこも以後二三週間は消毒藥品撒布が必要だご云ふこごである

蚊に喰はれて死ぬ

不良少年を折檻した親の過失

佐賀縣杵島郡南有明村藤間松一長男十七八(二)は不良少年の群に入り六日夜も深夜歸宅せしより松一は大に怒り荒縄にて十七八の兩手こ腹を縛し折檻したる上蚊に喰はせんこて其儘土間に據置きたるに五時頃たゞならぬ悲鳴を揚げたるに驚き見たるに十七八は蚊の群の襲撃を受け全身腫上り居たるものなるが間も無く死亡せしより松一は傷害致死罪こして拘引せられた(佐賀電報)

八日の雨は全鮮に降るだらう

七日午後松花江下流に現はれたる低氣壓は八日朝黄海道沖に達し中心は七百五十耗以下に下りたるがこれが爲めに夜來西鮮地方は風雨を催し京城は七日午後六時以降八日午前六時迄に五十耗(雨に九[illegible])の降雨ありたり但し該低氣壓は黄海道より上陸し元山附近を通過して日本海に進出するこごなるべく[illegible]如くいてゐる

阿部讓氏の葬儀

朝鮮銀行員にして既に本國薬港に於て逝去したる同行理事阿部讓氏の遺體は日本に歸らず京城に[illegible]の爾中に安置の儀を定め上半身は厚きガラス板を隔てゝ見らる可く外部は紗張二重の[illegible]に入れて密閉されし(十月五日)午後二時より京城本願寺にて葬儀を執行し諸部朝鮮銀行總裁以下同行職員行員並に[illegible]多數名士の參列あり[illegible]讀經ありて[illegible]葬儀を了りて[illegible]骨は努力[illegible]られたり尚阿部氏の岳父土田求道居士の遺骨は左の如し

大正七年七月五日土田政次郎[illegible] 天高地厚、人生何遊、一朝分袂、幽明異途、形骸雖存、魂魄不回、嗚呼哀哉[illegible]

八日午前八時觀測所發

西南方面は[illegible]なるを以て八日中は全鮮に降雨を催すべく殊に中心京城に來り中部以北影響著るしかるべし

運動界

▲鮮銀善戰す 鮮銀對法政野球試合は七日午前十時より京中グラウンドにて開催せしが此日遠征軍は正投手植田をプレートに立たしめ武藤主將以下リーグ戰の陣容を整へ正攻法によりし事こて堅陣一層の堅を加へしも鮮銀の守備亦堅こして容易に遠征軍の跳梁を許さず法政軍は[illegible]コーアを殘して[illegible]京中を一蹴しきりたる鮮銀軍が對等の仕合をなしたる健鬪振りは多こす可く戰の結果三對零にて敗れ遠征軍をして朝鮮を蹂躙せしめ了りたり

▲ダイヤモンド慘敗す 午前に於ける法政對ダイヤモンド倶樂部對法政野球戰は七日午後二時より開催見ゐたるダイヤモンド倶樂部は[illegible]法政軍二十六點を容れて空前のダルチームを演じたり

▲法政軍歸東 前後三日京城四チームこ連戰し連勝の榮を擁ひたる法政野球遠征軍一行は九日午後七時五十分發列車にて出發歸東の途に就くべし

讀者文藝(二箇日の投稿次第)

▲下句付『大相撲』

◎大相撲力士團扇の浪に浮く(二)

仁川本町日下部方 花辰生

▲立てにさす土俵際 京城 樂海

▲晝雨の兆一呼吸 寧邊 窓月子

▲人氣の波を漕ぎ付せ 洪城 一水

▲大鼓に響く山の利 利川 浙光生

▲聞いた許りで腕が鳴り 烏致院 拔天生

▲京城の洋館家の高い大背水氏は毎年金剛山避暑に出懸ける爲め不便こあつて今度九龍淵附近に錢室を建てた背水氏の金剛研究は瀕に定評があるが更に面白いのは之こ同時に山中の名勝々々に自費を投じて建札を建てゝ其の名勝の名や由來を記して探勝者の便に供した事である▲これは確かに好い思ひ付きで昌慶苑動物園では今度大邱の[illegible]部隊を始め憲兵隊其他より動物を[illegible]感謝してゐるこは尤も千萬な處に小猿を二三疋ばかり寄贈した戰に今頃は大邱で類りに愛嬌を振りまいてる筈

商況

兵庫期米特電

八日前場 當限一節 二十六圓九十七錢 中限 二十五圓十五錢 先限 二十四圓三十九錢

大阪株式特電

銘柄	拂込額	六日後場
宇治川水	四五,〇〇	—
京阪電鐵	五〇,〇〇	—
東洋紡績	五〇,〇〇	一六二,一〇
合同紡績	五〇,〇〇	—
鐘淵紡績	五〇,〇〇	一四四,〇〇
同上新株	四〇,〇〇	—
東洋製糖	五〇,〇〇	一二八,七〇
大阪商船	五〇,〇〇	一二六,八〇
日本郵船	五〇,〇〇	一二三,〇〇
同上新株	五〇,〇〇	—
堂島米穀	五〇,〇〇	一三三,〇〇
東京株式	五〇,〇〇	—
大阪株式	五〇,〇〇	一三〇,五〇

大阪三品特電 八日前場 七月限 三三六,九〇 八月限 三三八,四五 九月限 三三七,九五 十月限 三三七,九〇 十一月限 三三六,六〇 十二月限 三三五,一〇

大阪期米特電 立會停止

下關期米特電 日後場 當限 中限 先限 [illegible]

雜 價 [illegible]

◉三品伸惱む(大阪) 三品は當限・百三十六圓九十錢先限百五圓十錢を上値に前場より小高く後場引値よ

約五六圓方下押

現物は[illegible]綿布は[illegible]圓十錢[illegible]の入電にて比較的十一

◉正米依然强し 定期は別項の如く土曜日仮場に至り大阪大暴落停止となり此影響は遂に當市中停止中仁川にも及して今前場急轉直下の大暴落に取引所は追證整理の下に先限ら立會を休止するに至りしが此結果正米界にも多少の反響あらんかご思はれしが近來期正互に獨立の觀ありて期米界の狂瀾

怒濤も至極平靜に看過されつゝあり尤も釜山方面は幾分下押し人氣を傷ぜるも當地は[illegible]依然頑强を極め昨日來の如きは多少思惑的の買進みもあり旁一二二十錢高

◉空瓶氣弛む 空瓶は其後格別變らざるも季節の拂底期過ぎたれば稍々軟弱こなりサイダー瓶の如きは問屋の買入値は一錢ちの四錢となれり

下關相場

◉砂糖界の苦境 [illegible]

多少の損失を蒙むらざるはなく一時[illegible]市價維持に[illegible]市中相の場協定をなすに至るや

燐寸は持合ひ [illegible]

黄燐[illegible]安全の澀滯に[illegible]持合極めて

洋紙好賣行 [illegible]

◉內地製粉下押 [illegible]

見當の高値の儘を持合ひ居れり

各地商況

◉群山正米市況(六日) [illegible]

南大門廻穀

仁川正米

釜山物市場 七日 [illegible]

生魚市場 京城日の丸市場 [illegible]

市場雜觀

仁川期米 八日前場 大暴落

十一錢安に寄付き十五錢こ大暴落

前場の立會を休會する旨掲示したり

先限 四十四錢安 先限も休會

八十錢切に大落を演出

追證整理の上立會を見るに至らん

形勢險惡

四圓十錢迄反撥 大阪七節

處分的投物輻湊

停止中の當中限に大影響

◉仁川米豆取引所仲買人 唐澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長六〇番

◉仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目

◉仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助 仁川港町

◉仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店

仁川米豆取引所 八日の九月限

食料品卸相場 [illegible]

仁川期米 八日後場休會 [illegible]

◉颱風警報(八日午前八時發) [illegible]

文藝 課題及募集規定 [illegible]

西南の雨 後曇

……[illegible]六十三錢と更に一段の崩れを報せ……の管理米□の爲め遂に立會の運びに至らず引續き後場も休會せり

●兵庫期米暴落　大阪

●大邱の戸口　六月末日現在の大邱の戸口は左の如し（大邱）

……平前入港新羅丸……一等十八名 中村……外……次郎、秋田定吉、外人八名……二等……

……首三、外孤ぼま、……浦ふう、同宗雄、同純、同純次、丸川ほる兵、岩永つくわ、市川三郎、村上み……外人一名

●亂麻の如き國境の　無秩序に乘じて盛んに行はるゝ鮮支人の密輸と密造

頃日露支國境地方を視察したる師團某氏の談によれば東寧縣三岔口は支那軍隊五六百名駐屯し劍光帽影參差として警備物々しく同地より直ちに綏芬河の一流を介して露領なるボルタフカには目下反過激派軍集中されおれるが陣容を張り意氣衝天の慨あり之れに對して同地と約二里餘なるコンスタンチーノフスキーには過激派軍駐屯し兩軍睨み合ひて何日衝突するやも知れざる形勢にて殺氣漲り人心恟々たりボルタフカにある反過激派軍は約二千名の總勢にて機關砲を備へ兵裝も可なり整頓し居れり然るにコンスタンチーノフスキーに對陣する過激派軍は軍規に節度なく兵裝區々にて勞働服其儘の兵もあり給與もまた反過激派軍に比して薄しと云ふ點より夜陰に乘じて反過激派軍に投ずるもの多く

◇◇形勢反過激派軍に利◇◇なる觀ありされど過激派軍は背後にニコリスクを控へ同地との聯絡を有し居れば總ての補給に苦しまず兩々相對して戰機は一髪の間に迫り頗る物騒なり斯の如きを以て三岔口よりニコリスクに至る街道は全然交通を絶つに至れるが同地方の現狀に乘じ密輸出入は盛んに行はれ露國税關の如き取締るに途なく擲薬の謎にあれば狡猾なる支那人及び朝鮮人は煙草の輸出を企て巧に奇利を博しつゝあり而して亦罌粟の栽培は支那領に於てこそ兎も角之れを禁止し取締嚴なりと雖も露領は

◇◇頗る著なく罌粟の栽培◇◇行はれ此點全く別天地の觀あり元來露領に於ける旺盛なる罌粟の栽培は露支兩國の間に某交換條件締結せられ其以來露國は絶體に之を禁止せるなるが混沌たる露國の現狀は取締るに由なく本年同地方の農民は平氣にて栽培し露國人支那人朝鮮人迎じて栽培に手を下さゝるものなきより此阿片を目標とする支鮮人は三岔口に集ひ阿片買の豫約盛んなりといふ（間島）

●破竹の勢を以て進めるチエック　將に悉多を占領せんとす　過激派軍赤色軍と共に引揚ぐ

ハバロフスク急河よりの報道によるにチタ市附近に於て二箇のチエック軍隊は鐵道及び市街を占領せんとし過激派軍と激戰を演じつゝあるが、過激派軍はダウリヤ戰線に於ける一萬五千人に達する赤色軍をチタに引き揚げたりチエック軍は銃砲充分ならざるも好く奮戰したり（哈爾賓）

●過激軍益々不利

ボグラニーチナヤに於けるカルイムコフ軍司令部よりの報に曰くデイツリッツ將軍指揮下のチエック軍は戰鬪の後ニコリスクウスリースクを占領せる爲め

◆◆過激派軍は大狼狽◆◆を來し、烏蘇里鐵道によりハバロフスクに向ひたるが尚ほグロデコウオ及びニコリスク、ウスリースク間に殘留するものあり、チエック軍は近距離進撃の希望ありたるも本日カルイムコフ軍隊と共に遂に進撃を爲すべしと（哈爾賓）

●餓死する者日に百名

反過激派により樹立せられたる西伯利政府はレニン政府の滅亡せざる限り歐露に向け西伯利より物資の供給を爲すを拒絶したるが夫れが爲め今や中部露西亞は刻々に饑餓に瀕し日々百名近き餓死者を出しつゝありと（哈爾賓）

●占領されしグロデコウオ

グロデコウオより受け取りたるカルイムコフ司令部宣領の電報に依るにカルイムコフ軍は五月午前八時グロデコウオ戰線に於ける過激派軍を攻撃し遂にグロデコウオ停車場を占領したり（哈爾賓）

●今年は意外な豐作だと喜ぶ　平南各地にて

平南各郡に於ける農況調査の爲め出張中なりしが土肥平南道技手の談に據れば中和、龍岡、江西三郡に於ける農況は頗る良好にて談話大要左の如し　平壌

◆麥作　大小麥の作況は豫想に反し豐作を見るに至れり今是等の狀況を聞くに春季の乾燥によりて一時發育不良なりし麥類は四月下旬以降に於て時々降雨ありし爲め非常に恢復し草丈分蘖共に昨年に比し一般に旺盛なりしも小麥作に對しては降雨の時期稍晩きに失したるひあり收量見込として大麥は昨年の實收と比し約六割增の豫想にして小麥にありては昨年の實收に比し三割增收の見込なり目下刈取期に繁忙を極め居れり

◆棉花　は播種當時一時雨濕の乏しかりしを以て發芽の如何を杞憂しつゝありしが其後適當の降雨ありし爲發芽容易にして生育順調に既に二回の除草及び中耕間引を終へ草丈四寸内外に達し病蟲の被害を認めず成育頗る良好なり而して生長の殊に發達せるは江西郡の海岸地方にして龍岡郡之に亞ぎ中和郡の鮮畠地方は其生育稍遲延せり而して右三郡に於ける本年棉作付面積は五千七百六十三町として昨年の作付面積三千八百六十二町步に比し百九十町步を增加せり

◆粟作　は播種當時の天候不良にして發芽後時々降雨ありしに依り生育極めて良好にして目下草丈一尺五寸内外に伸長し成績益々良好

◆其他　一般の農作物も生育佳良にして豐作增收の見込なりと

●慶南經濟通信

◆一般經濟事情　六月中の慶南管内に於ける經濟狀態は月始め米價の奔騰により地方筋の持越米買ありし結果金融の小繁を見たるも以降は農繁季節と滿資金豫想の如く活躍を見ざりしも五萬餘圓散布されしと依り依然として緩漫の狀態の裡に越月せり、例年なれば鮮農等は手持米も賣盡し所有土地を提供し收穫時季迄融通をなすの例なるが本年は然る傾向絶無なる故彼等の經濟狀態は數年來稀有の良好なる如しと栖原支店長語る

◆陸地棉作況　慶南の陸地棉成育は天候順良の爲め例年より發芽約十日早く後の成育頗る良好なり棉作者十二萬七千三百五十九戶にて作田一萬九千四百七十六町步なり

◆晉州製叺組合　晉州製叺組合は昨年度製産高は三萬六千五百枚にして現在機械臺數六百臺なるが近々總會を開催し年一割の配當をなす由（晉州）

●大邱の貿易額

大邱六月中の輸移出入高は輸移出十七萬二千八十六圓輸移入四十三萬五千百六十圓にして之を前月に對比するときは輸移出額に於て一萬二千三百五十八圓を增加し又輸移入額に於ては二萬一千百三十四圓の減少を示せり、而して輸移出品の主なるものを擧ぐれば棉花の十二萬三千〇五十圓を最とし煙草の三百九十二圓之に次ぎ豆類の四百圓米の三百九十四圓其の他の雜品四萬六千四百八十六圓の順序にして又た輸移入品の主なるものは綿絲及同附屬品十八萬千八百五十八圓綿織絲二萬四千八百二十九圓生金巾及生シーチング二萬二千二百十八圓日本木綿一萬六千三百六十三圓等を最とし其他粟、小麥粉、果實及椰子、砂糖、清酒、麥酒、燐寸及打綿、晒金巾及晒シーチング、天竺布、毛織物、靴及履物、洋紙、其他紙類、文具類、銑鐵、鐵、筒及管、諸器械類、陶磁器、木材及板、叺細及莚、小包郵便物其他の雜品なりとす（大邱）

●輕鐵の運輸成績

六月中朝鮮輕鐵大邱琴湖間運輸成績は客車收入三千二百五十五圓九十八錢貨車收入三百二圓三十六錢計三千五百八圓三十四錢にして前月に比し客貨車收入多少の增加を示せり各驛別成績左の如し（大邱）

驛名	客車收入	貨車收入	計
大邱	一、三三六、四二	一〇〇、五一	一、三三六、七〇
東村	一六五、三六	一、一〇	一六六、四六
半夜月	一六三、八八	三、二五	一六六、一三
清泉	三一七、八四	四、〇七	三二一、九一
河陽	五九四、五三	五三、五五	六四七、〇八
琴湖	八八〇、七七	二〇、一四	九〇〇、九一
計	三、二五五、九八	三〇二、三六	三、五五八、三四

●北鮮の海に鮪　珍らしき十一年目の大漁

清津近海には六月下旬より鮪の漁獲あり僅々旬日間に百數十尾漁獲ありたるが元來北鮮方面には鮪の漁獲甚だ稀にして殆んど棲息し居らざるものとせられありしが今回斯る多數の漁獲ありたるは奇異の現象とせられあるが今より十一年前も清津近海に於て數千尾の鮪漁獲ありたりと云へば絶對に棲息し居らざるべく漁撈を改良せば相當漁獲あるべき見込みなり（清津）

●大邱府協議會員　缺員中の大邱府協議會員は李章雨氏任命さる（大邱）

●水害跡復舊

◆大邱憲兵分隊の管内◆大邱憲兵分隊の調査によれば管内慶北管内に於ける過般の水害につき大邱に於ては二名の鮮人死者と二軒の倒壞家屋を出し去る五日を以て凡て舊態に復したるも洛東江沿岸なる玄風、論工の二面は一時江水三丈以上に達したるを以て其後漸次減水したるも未だ交通は杜絶し居れりと（大邱）

●鐵道倉庫收入　六月中の大邱總倉庫の入出庫貨物數量及倉庫の收入は入庫（三〇〇噸）出庫（四二八噸）收入（二百九十二圓三十一錢）なり（大邱）

●大邱分隊移築　既報大邱憲兵分隊の新築工事は過般龍山に於て入札の結果大邱の請負業者佐野源藏氏に五千五百圓にて落札し竣工期日は來る十月十五日にて八日より着手せり（大邱）

……に四百町步の移植を了へたる由而して今回の降雨に遲くも十日迄には一千町步全部の移植を畢るべき見込なりと（大邱）

●清州と金融組合

今回中清北道管内に十五箇所の金融組合新設さるべく差當り四箇所を新設する筈にて目下詮議中なるが指定面たる清州の如き眞先に設立を見るべく清州經濟界のため福音と謂ふべし因に一口の出資額は五十圓にて十回の拂込とし手形割引預金其他銀行の代理業務の取扱をなす筈（清州）

●解散と別配當

慶尙農工銀行本年上半期株主配當率は前期同樣年八分に決定せるが近く同行の解散に就ては拂込金額一割の特別配當をなすべし（大邱）

●山口氏と清州電氣事業　清州電氣は其後整理を見んとする迄に至りしたるが右に對し今後事實上の出資者たる京城の山口太兵衞氏は清州に赴き今後の經營方針に關し一般の意嚮を叩くべし銀杏樓に官民有志六十餘名を招待したり（清州）

●迎日水利の近況　慶尙北道迎日水利組合にては右岸に据付けある機械の潛革破損したる爲め新に註文中の處今回神戶より幅十二吋長さ六十尺價額六百圓の現品到著したるを以て取り換へを了したる由尙同組合の蒙利區域内は四日迄に四百町步の移植を了へたる由而して今回の降雨に遲くも十日迄に一千町步全部の移植を畢るべき見込なりと（大邱）

●平壤の貿易額

六月中に於ける平壤通關貿易は輸移出二萬八千四百九十二圓、輸移入五十八萬七千四百二十八圓合計六十一萬五千九百二十圓にして之を前月の輸移出入總計九十二萬三千二百六十圓に對比せば三十萬七千三百四十圓の減少を示し居れるが之が原因としては六月は起業材料の輸送上著しく減退せしと一面例年六七八の三個月は商界閑散の時期なるを以て輸移入品と仕入手控へ等に因るものなり然れども本年上半期間に於ける貿易を見るに輸移出二十萬六百七十九圓、輸移入三百二十九萬三千百九十八圓合計三百四十九萬三千八百七十七圓にして昨年同期に比し百三十萬餘圓を增加し大正五年度一箇年の三百六十八萬圓に稍近く同四年度に比し半期間に於て一箇年の總額より超過すること五十三萬三千八百餘圓に達し居れり之等に徵すれば如何に平壤貿易の著しく膨脹せしかを窺知するに足るべく現時の趨勢より推せば本年度は優に八百萬圓を超過すべしと觀測さる

●被害尠し

慶南にては未だ各地よりの詳報なきも晉州附近は何等の損害なく陜川、居昌方面の被害も大なるが如く農作物には被害僅少なりと（晉州）

●書記長用向　（安田大邱商議書記長）は大邱中學設置陳情書提出並に會議所聯合會加盟、共進會大邱發會等附金等の用務を帶び五日京城に赴く（大邱）

●父母を亡へる十歳の少女が

◆何處を的てともなく汽車から汽車の搦り旅ひ◆

七月四日午後十時卅分仁川行の終列車が龍山を今發車しようとする頃一人の見窄らしい十歳位の少女が怖々と列車の中に這入つて來たが古ぼけた飛白の單衣に帶さへ無造作に乘客の女連の間に交つてゐたるるのは何だか仔細ありさうに見えるさうして粗末な風呂敷包を抱へてゐる汽車は永登浦を過ぎると車掌は檢札に廻つて來て客車の入口から切符を見ると聲を掛けた、すると先の少女は何を思つたか

◇◇フイと直便所の中◇◇へ這入つて容易に出て來ない恰も自分の座席の檢札を終へて車掌が行き過ぎる頃件の少女は席に歸つたこれを見た廻りの乘客は必ず此の少女に仔細があると見て取つたがそれとなく訊き糺すと只涙を流して語らない切符は持つてゐるかと訊くと輕く『無い』と答へて

◇◇涙を拭ふ許りである◇◇斯くてあるべきでないから漸くの事に騙し賺し事の仔細を訊いて見ると彼女の物語りは悲しかつた、此の少女は高羊禮喜代子と云つて今歳漸く十歳である、今日しも大邱から何處を的てともなく北行の汽車に乘り込んで夜龍山に著いたが更に行き處が分らないので再び

◇◇何處へ行くともなく◇◇只此の汽車に乘り込んだそして今朝からまだ一椀のお飯も食ず一滴の水も飮まず頼る邊なく汽車に身を委ねては只行く處に行くべしと的てもなく彷徨ひ出たのだと判明した、まア何と不憫な乙女だらうと車内の人々は何れも同情の涙を此の少女へ集めて色々と訊き糺すのであつた此の喜代子は大邱に生れたのであるが其の原籍は福岡縣筑紫郡である

◇◇兩親は久しく大邱に◇◇住んでゐたが喜代子が學校に行く樣になると内地の學校が小供の爲めに好いと云ふので喜代子は一人郷里に歸る事となつた然るに大邱に居る兩親は一年前に不圖した病氣で喜代子を内地に殘したまゝ遊泉の旅に急いだので或る日喜代子は兩親の遺骨を受取りに大邱の伯母の家にと來た然し乍ら永久に大邱に止まる事も出來ず學校の關係があるので

◇◇兩親の遺骨を抱へて◇◇一先づ内地に歸つたが扨て孤兒となる身に行かす内地の親戚が相談の上喜代子は再び大邱の伯母の家へ送らるゝ事となり六月十二日切符を買つて貰つて父母の靈の在ます朝鮮へと一人淋しい旅に上つたのである處が

天は何處まで此可憐◇◇な少女を禍ひするであらうか彼女が九州線の列車に搖られて門司の近くに來ると一人の優しい婦人が彼を迎へて何呉れとなく親切に世話を與へ果ては切符其他の物も小供が持つてゐては危ないからと

◇◇甘く騙して其の女は◇◇釜山の棧橋で姿を隱した、切符を盜られた喜代子は途方に暮て棧橋に泣いてゐる時高麗丸の事務長に救はれて兎に角釜山迄は來る事が出來たそして釜山からは驛長助役の親切で十四日の午後辛うじて大邱に著くは著いたが

◇◇伯母もさうせ厄介者◇◇の喜代子に對するのであるから日頃の扱も辛いので子供心にも居堪らず彼女は遂に大邱驛からソツと北行の汽車に

◇◇乘込んで彷徨ひ出で◇◇再び龍山驛から仁川の終列車に何處へ行くとも知らず乘込んだのであつたが恰も此處に乘り合はした仁川本町の蓮宮氏は痛く同情し自分にも娘が無いのを幸ひ自分の家に連れ歸つて勞はつてゐるが果して此の可憐な少女の運命はどうなり行く事やら（仁川）

京日愛讀者に　酬ゆる爲め

第二回巡廻お伽講演

◆本社は地方に於ける讀者諸君の寵顧に酬ゆる爲め且つ又兒童のお伽講演の爲めに開きました第一回地方巡廻お伽講演を甚だ多大の歡迎を受けましたので今回は更に

◆西鮮及滿洲の一部◆各地に開催する事となりました、少年少女達は申すに及ばず何方でもお誘ひ合はされて聽きに入らつて下さい入場料は無料にて無論有志の金品寄贈は斷じて申受けません

◆巡廻お伽講演日割

◆開城	八日	自午後三時至午後五時
◆新幕	九日	同
◆瑞興	十日	自午前十時至正午
◆沙里院	十一日	同
◆黃州	十二日	同
◆兼二浦	十三日	同
◆中和	十四日	同
◆鎮南浦	十五日	同
◆平壤	十六日	未定
◆新安州	十七日	自午後一時至午後三時
◆定州	十八日	自午前十時至正午
◆宣川	十九日	同
◆新義州	廿日	同
◆安東縣	廿一日	同午後

京城日報社

●惡運盡きて　捕へられし兇賊

支那直隷省生れにて馬賊の親分たる財子兒こと任殿生（□）は今を距ること二十五年前吉林省にて兵丁となり入營中仲間の惡徒と語らひて強盜團を組織し露國人を脅迫して一萬ルーブルを強奪せしを手初めに或は強盜殺傷人質拉去等在らゆる惡事を行ひたるが其後惡運盡きて三江口邊を徘徊しゐたるが此程八面城に出て藥を購はんとせし處を我官憲の爲めに取押へられ四平街にて諸所放浪の末苦力とまで成下りて支那官憲の手に引渡されたるが支那官憲は無論死刑を執行せらるべしといへり（四平街）

●事務競技會　釜山局の新らしき試み

釜山郵便局にては七日の日曜を期して第一回郵便競技會を開催したるが會場に假設南郵便局及び北郵便局を設けて左の各種に付き競技を爲したり（一）内地區分（二）朝鮮區分（三）外國郵便（四）日附印押捺（五）行嚢締切（六）郵便取扱（七）須算（八）讀上算而して是等臨分競技は千數百通の擬信票に依り

●開城より

▲汽車通學不能　本月一日より汽車時間改正の結果從來午後四時十分南大門發同七時九分開城驛著なる混合列車は午後一時五十分南大門發となりしため開城より京城に通學したる數十名の學生（中學校高等女學校高等普通學校等）及長湍、汝山金村等よりの中等生及小學生は全部通學不可能となり途方に暮居れり何とか其筋に於て相當の方法を講じたき者なり（開城）

●清州の大掃除　清州署に於ては水害後の臨時消毒大清潔を實施すべく七日より十日まで四日間各町内の清潔檢査をなす（清州）

●郡守の送別會　大田郡守より扶餘郡守に轉任したる金溫洙氏は大田在勤七年四ヶ月餘に達し當地方に貢獻多かりしを以て大田地方の官民有志は盛大なる送別會を開催すべく協議中也（大田）

……て演ぜられたるが北敏捷なる事は驚く可きものにして特に郵便物の取集め及び差立等の如きは一入來賓の目を驚かし最も盛會裡に好成績を以て閉會したり（釜山）

張三李四

◇◇往來で肝臟の破裂◇◇大邱七星町西方鐵道踏切を通行中肝臟破裂して喀血の上即死せるは大邱大和町居住雀南道といふ者にて屍體は檢視の上遺族に引渡さる

◇◇車の上から攫はる◇◇清州本町四岡田運送店にて得意先より運送方を依賴されし乾鰯三十袋の中二袋（二百圓）を荷車に積込しこき何者にか竊取され訴へ出づ

◇◇幼兒水泳中に溺死◇◇清州無心川にて毎年夏游泳者の溺死多き例なるが本年の夏眞先に溺死せし者は清州郡四州面倘與里金光先四男俊遠（八）こいふ少年なり

各地の金融

◆大田（漢湖農銀支店）

六月は農繁期に際會せし事とて毎市日の人出少なく物品の賣行又多からず、唯米價は調節令の爲め前米の暴落せなりしが其後又々膨貴し來つて移出並閑合に多く又奈爾は稀有の高價なりし結果之れが買入資本の需用を喚起し農民の蒙れる利益は尠からざるものありしも其他の移出入品は取引殆んど皆無と云ふべく金融は一般に緩慢なりき、七月に入らば麥買入れとして多少資金の需用喚起を見るべし六月は麥の刈入稻の移植の爲め農民一般に多忙を極め且つ農家一般に放資すべき穀物乏しく一時商況の現象に過ぎず、旁々貨物の出入は少なく商況一般に閑散なり物價は一般に内地相場に支配せられ米繭等の外甚だ大なる變動なく本月は大なる特殊事項として六月下旬に適度の降雨ありて稻の移植に適せる良好なり本秋の農作を豫期して人氣は甚だ良好なり漢湖農工銀行大田支店の銀貨出入一二五六、六〇五（入高）一、一六五、九二六圓（出高）二二一、一七二圓（殘金）三二四、六二七圓（貸出）

東京大相撲
京
木戸割引券
（元山興行中）
後援　京城日報社
京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

金銀賞牌廿四個受領
タトへ億万長者でも
健康は絶對に
金では買へぬ
只毎食前一杯づゝの美味滋養
蜂印香竄葡萄酒は
味つて見て下さい
メキ〳〵元氣健康を増進す
美味＝滋養＝濃厚
全く他品に卓越す
東京本町　近藤利兵衞

山縣五十雄村上唯吉共著
富の道しるべ
價十五錢
郵税二錢
東京太平洋社
京日代理部
電話長四〇一一番
大塚京城支店

フケトリ
カユミ止
ミヨシ香水（ミツワ香水）
東京　塚谷出張店　京城本町

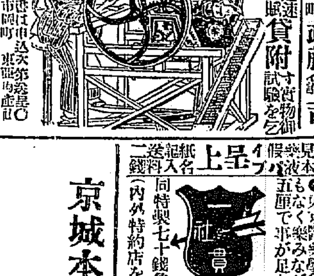
りん病
消渇で困る方に切手
三錢送れ多年の慢性も自宅にて人知れず秘密に治す妙藥を人助けに無代で敎へ致し升
名古屋南かじや町　武藤龜吉

精米麥機
ベカ
運轉安樂精白迅速
信用ある方長期月賦
貸附すも商物御試驗を乞ふ
製造元
○詳細圖入說明書は申込次第送呈○
大阪西區市岡町　東部商會

神經衰弱特効
神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス
榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神
ユーキリン
本品ハ帝國大學敎授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ
散劑末 二五瓦入 金七拾五錢
錠劑 百錠入 金八拾錢
說明書進呈ス
各地有名藥店ニテ販賣ス
東京室町　三共株式會社

帽子原料附屬品商
江輪商店
大阪高麗橋東詰
電話東長一六一・三六六三

内科　小兒科　入院隨意
院長　醫學士　小林千壽
副院長　東北醫學士　戶川武
永登浦分院長　醫師　久保廣次
京城旭町一丁目（電話九六二番）
小林醫院



秋蒔種子
大根　蕪　大阪産業株式會社京城肥料部
京城南大門通四丁目　電話一八五〇番
振替は殷鑑利用商會楠原兼續大阪苑京城一四二九番

肥料
過燐酸、硫酸アンモニヤ、智利硝石、鰊メ粕、油粕、大豆粕
稻作用、煙草用、果樹用、苗圃用其他各種配合肥料
特色　近驛より實著見積販價に相談致し居候御注文の際は必ず
販賣　命に應じ申候
配置驛・京城・釜山・裡里・水原・鳥致院・平壤

見本（試供品）呈上
紙送料二錢
禁煙パイプ
一貫社の
見本液五匣で事が足り衛生經濟一舉両得也
東京醫藥學會新發見風味液
もなく樂みながら禁煙ができ味も煙草以上
同特製七十錢象牙製九十錢 パイプ水牛製四十錢送料八錢
商標に御注意・風味液六十錢サック三十錢
（内外特約店を募る）
東京神田猿樂町三の四
振替東京弐參弐七番
一貫社專賣

京城本町一丁目江戶川横
岡本齒科醫院

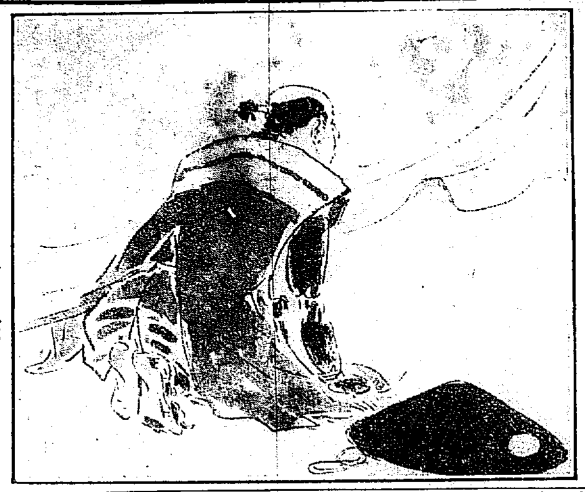
眼科專門
京城若草町（黃金町通り若草町新道路中程）
新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中
金井眼科醫院
電一五五六

塚原卜傳

第百三十席

悟道軒圓玉口演

佐竹彈正左衛門熊吉を傍近く召して其面を見るこ一癖有氣なる逞しき器量でありますから 彈『其方は何國の生れで本名は何こ申すか 熊『へエ私は伊豆の下田生れでございまして以前は田舎角力を取つて居りました荒熊の猪五郎こ申しますが、病氣に罹つて力が落ちまして今では小間物商賣をいたして小松屋四郎吉こ申します 彈『フム城内へは何日から出入をして居る』吉沼が 五『つい半月ばかり前でございますが斯う々々でございます』こ大船屋德兵衛の入口で城内へ商ひに入るこ云ふから山狩の供をしたまでの事を申上げるこ 彈正笑つて 彈『左樣か、面白い男だ、貴樣位ゐの力がある者を商人に致して置くは惜しい事ぢや、武家奉公がしたいこあらば身が召抱へて取らせる何うぢや 熊『有難き仕合せに存じます、御召使ひ下されば此上の喜びはございません 彈『ムゥ、用ひ方に依つては一廉の用に立つ者ぢや、五左衛門宜きに計らへ』五左衛門 五『畏まりました』茲で改めて新地五十石士分お取立こいふ事になり、小間物屋四郎吉改めて小松四郎兵衛こ名乗り、御馬役に召出される事になりました、熊吉の喜びは申すまでもない、先づ之れで彈正の側にも出入りが出來る其動靜を窺ふ便宜も好いこ心中大に喜びました、さて山狩も了り、其夜は山中に明して翌日下山、眞壁へ歸城に及ぶ、サア城内は固より城下の隅々まで大層な評判、小松屋四郎吉が筑波の山狩りで大猪を打殺したこいつてワイワイ騒ぐ、大船屋德兵衛之を聞いて驚いた、大變な事をする男だ、人は見掛に寄らぬもの、高が田舎相撲で其れほごの大力があらうこは思はなかつたが、何しろ士分に御取立になつたのは大した出世だこ喜んで居る處へ熊吉立派な衣服に大小を揮つて大手を振つて入つて來た 熊『小松屋德兵衛在宅であるか、拙者は小松四郎兵衛こ申す者、改めて見參せん』こ怒鳴りながら上つて來た德兵衛吃驚して 德『ヤア小松さんぢやアないか冗談しちやア不可ない吃驚した 熊『アハヽ、德兵衛さん喜んで下さい、まア私も今度は出世をしました 德『イヤ其事だが今も噂をして居た處だまア何にしても大した功名をなすつて私も共に喜ばしい 熊『私も今日から五十石の侍、何分彈正樣のお馬廻りを勤めるやうになりました之も皆んな貴方のお蔭で……』 德『結構だ、お前さんが言當てなすつた、まア本意が叶つて何よりだ』こ之から酒肴を澤山並べて祝ひの酒宴をいたし、德兵衛も喜びまして祝ふ、さて熊吉小松四郎兵衛こなつて翌日から城中に小屋を貰つて住むやうになり彈正へ毎日日通りをしては役を勤めて居る、彈正も浪人を數多召抱へて居る位ゐで用心嚴重にして居るのは仇を持つ身であるから小太郎を恐るゝため此四郎兵衛の怪力を頼もしく思ふ所から何か事ある時に使ふつもりで五十石で召出しましたが、之れが小太郎の腹心秋山伴作の弟であるこは神ならぬ彈正少しも知らぬ、其中四郎兵衛如才なく彈正に取入りまして忽ちの中に側近く出入りをするやうになり日夜好機を窺つて居りますこ茲に幸ひの事が出來たこいふのは佐竹彈正の子息に阿蘇丸こいふ子がある、當年十六歲になり元服して長一郎宣胤こいふ、佐竹義宣公こ同年である處から豫て義宣を廢して此宣胤を以て水戸の城主八十萬石の主にさしたいこいふ陰謀を企てゝ居ります、其長一郎宣胤に此の一族伊達大膳大夫政宗の奥州の伊達兵庫頭藤務の娘八重姫を嫁に貰ふここに約束が整ひ來る八月初旬輿入れがある、其上にて義親子伊達家の招待にて奥州松島を遊覽のため出發するこいふここに相成りましたが、之れこそ絶好の機會。



慶州より

慶州佛國寺こ石窟庵　佐々木生

二日午前十時頃には天全く晴れたが空氣は重く風も濕氣を帶んで未だ未だ降り足らぬ梅雨の容である然し今日は降つても照つても萬難を排して佛國寺行きを決行する覺悟であつた事を天も諒したのかこ一行は此天候に雀躍りして出發した慶州南門外に出れば鳳凰臺附近より六村時代の陵墓其他時代ご形狀樣々の數多き陵墓の間を縫うて南山を右手に齋德陵、四天王寺趾、神文陵、神武陵さては孝照陵、聖德陵こ漸次左手に取りて辰巳の方角に進むのである昔神功皇后新羅を征し給ひし時新羅王が南面して皇后に向ひ阿利那禮河東流すこ雖も此盟を變へじこ契うた、其阿利那禮河は今の南川であらうこいふ事だが其南川は佛國寺の山から出で南山の東麓を流れ慶州に到るのである輕便鐵道佛國寺線は慶州を出れば此街道の左手に傍うて敷設さるゝ事に成つて居るが凡ての古跡は車窓に展望し得るであらう、一行は午後二時佛國寺に着き直ちに先づ石窟庵を指して吐含山を登り始めた進むに從ひ途愈々急なれごも適所にベンチを設へ登山者大いに便なりで婦女子も之れが爲め登山し得るのである、右曲左折漸次に登れば佛國寺を眼下に見下ろし南川は展開せる青田蒼茫の裡に白布を晒せし如く蜿々こして流れ遠き峰巒は天半に連亘し脚下の群峰は縱橫、走るもの、踞るもの、臥すもの、立つもの其壯觀は思はず快哉を叫ばしめた、既にして山顚を背後に廻れば即ち石窟庵である遙に日本海を遠望し得るは甘浦沖である石窟庵に到れば僧に迎へられて清泉湧き出づる處に先づ休憩して後窟扉を開いて貰つた

曆

七月十日　九星

舊六月三日 戊午

本命九紫南閉 友引

▲九紫● 突飛なる　事の起る日新事見合 ▲一白● 昔々吸事有日新 四方は吉喧嘩慎むべし 計らるべし ▲二黒● 儲有日轉居開業入學名 弘探 職求 ▲三碧● 得意の日 職 婚禮人客業旅行 吉 轉居行商 入學 訴求 職 建築 金談 入 組の和を計る策吉 ▲四綠● 穩健の日 開業 旅行 婚禮 女子の心を安んじ立身を [illegible]

演藝案內

天然色活動寫眞 朝鮮一手代理店 電話二六三七・二六六六 黃金館 ○七月五日より新築二週年記念特別興行 ▲新派劇『火玉長屋の術に捕』 ▲米國バテー社大作『百萬弗の秘密』第一篇 ▲活劇 [illegible] ▲喜劇 [illegible] ▲日本新派悲劇『船長の妻』 ▲滑稽 [illegible]

米國ユニバーサル會社特約 京城本町 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館 ◎諷刺喜劇『自動車成金』 ◎世界最大戰爭劇『國難』 [illegible] 第三『ダイヤの一』 [illegible]

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館 ○七月五日より名畫特別大興行 △大喜劇 [illegible] ◎ [illegible] ◎世界最大戰爭劇『國難』 [illegible]

明治町二丁目 電話二六〇番 浪花館 ▲七月十日より開演 ▲京阪落語樂會一行 △落語(遊三) △落語(遊生) △落語(木鶴) △落語 △落語(圓洲) △大切 [illegible] ◎入場料は特に從前通り大勉強

京城本町 電話一〇五〇 壽館 ▲現代自然の滑稽劇 新進喜劇 [illegible] 右衛門一派 [illegible]

▲流行燈籠▼ ▲特價金拾圓也▼ ◎純毛にして新流行縞物四種 ◎世間ありふれたる內地製品にあらず 英國製にして「シワノヨラヌ」 右非常の好評殘部僅少に相成候間至急御注文願上候 京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

最上醬油 龍 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

ほまれ味噌

最上清酢 日本一 マルカン印

補血强壯 京城明治町一丁目 電話一九四八番 振替京城三七五三番

定價 十日分 二十日分 四十日分 八十日分 百廿日分 [illegible]

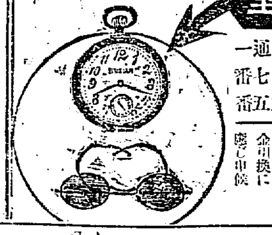
りん病 [illegible]

最上醬油 朝鮮仁川府 高杉醬油釀造場

賀化病院 京城明治町一丁目 電話二四番 小兒科 內科 無料施療 每日五名を限り 入院隨意 醫學博士古城憲治

大連燒酎 滿洲名産の高粱から此樣な甘ひ燒酎を醸造しだしたる事は竊に誇とする處です一瓶御試し被下 大連燒酎製造所 九鬼榮助

友助堂 京城南大門通一 電話二九七七番 振替一八九五番 金銀時計 眼鏡指環 各種取揃 居り候 代金引換に 應じ申候

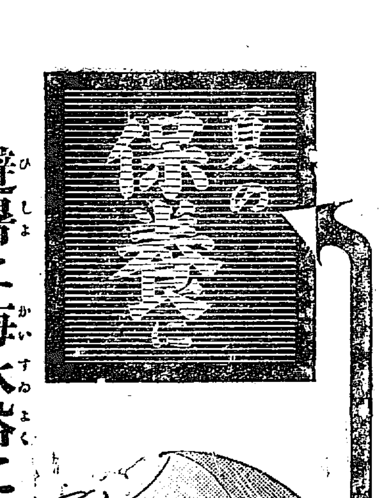


朝鮮法制研究會 縮刷 朝鮮法規提要 ▲ポケット形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢 送料八錢 ▲特價一圓八十錢

內容 憲法、法例―憲法―法例―公式令 官制 賞恤、恩給 文書附印鑑 地方行政 社寺、宗教 兵事 教育 衛生、警察 財務 土地、林野、河川 法務 産業 交通、電氣 [illegible]

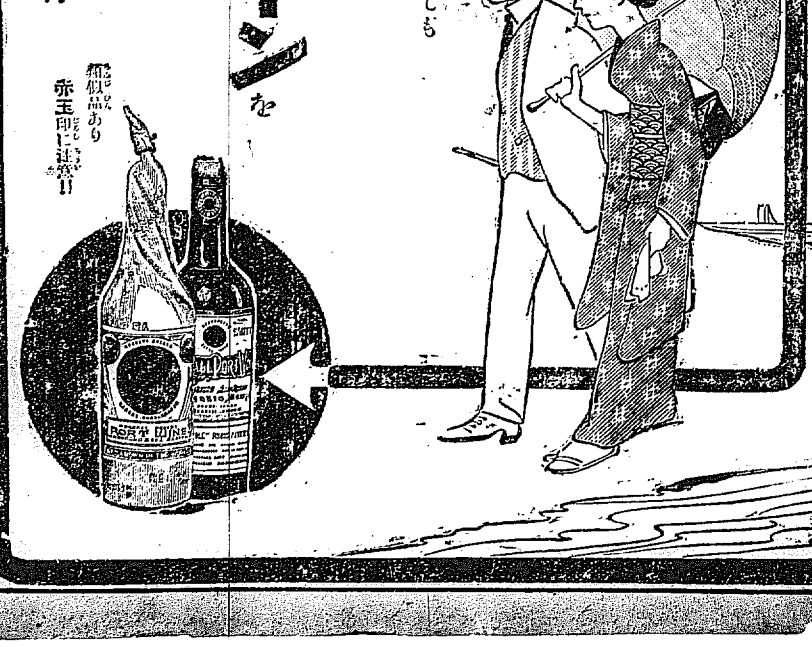
賣捌所 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話八四一・四五九番 振替京城五七番



內科 胃腸病 小兒科 診察時間 午前九時より 石川醫院 電話一三七二九番

避暑に海水浴に行かれても 七大醫學博士の賞賛と證明ある 美味滋養葡萄酒の 赤玉ポートワインを 朝夕一杯づゝ召上れ!! 家庭圓滿に 夏瘦せず体は益々丈夫で元氣!! 類似品あり 赤玉印に注意!!



新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

大正七年一月一日現在 正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢 本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの 一目瞭然にして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、産物名稱舊跡溫泉其他の概況を揭げ 本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、産業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり

司法大臣 松室致 閣下題字 京城地方法院所屬辯護士 法學士 加古貞太郎先生序文 前韓國財政顧問附財務官 小笠原寬先生序文 法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

“PINE” 一回の注入にて○○時間書ける 萬年筆の眞價は パインを除き他に知るべからず 愈々書き具合能しとの定評を得たる パイン萬年筆

特許既願防破裝置附 網出式萬年筆 インキ止式短軸 インキ止式實用向 パイン學生號 ビジネス・ペン(事務用) 金六圓 金四圓八十錢 金三圓九十錢 金二圓八十錢 金一圓九十五錢

不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

汽車

京釜線（南行） 同（北行） 京義線（北行） 同（南行） 京元線（北行） 同（南行） 京仁線（仁川行） 湖南線（南行） 同（北行） 馬山線 [illegible]

京城日報

第五版

本紙定價　壹部參錢▲壹ケ月七拾五錢▲郵税拾五錢　前金▲參ケ月前金貳圓六拾錢▲六ケ月同五圓廿錢▲壹ケ年同拾圓▲郵券代用二割増
廣告料金　七號十五字詰一行八十錢▲二號七字詰同一圓六十錢▲三號九字詰同一圓四十錢▲四號九字詰同一圓廿錢▲六號十七字詰八十錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用六千九番一　營業用六千九番二　守衛用六千九番三・四　振替京城三〇〇番　發送六千九番五

……の後場立會時間に至るも迫……の整理未了の爲め遂に立會の運……十九錢と休日前の引値に比し當限八圓中三十六錢先四十錢と安を報ぜしが前引けは當二十六圓九十錢中二十四圓五十錢先二十三圓六十三錢と更に一段の崩れを報せり

植物標本

◆植物を標本として永く保存するを以て[illegible]れた標本植物と雖も其葉色は自然にある場合の葉色とは大に異なつて居るされば之に著色の葉をして天然の青色を保存し得る方法が發見されたことが出來れば植物學研[illegible]問題であつた所近に至り此問題が解決され如何なる植物の葉と雖も少しも變色させず永く保存し得る方法が發見された

[illegible]は[illegible]の液を用ひ或は其他の乾燥法に依つても可い此場合醋酸銅は植物の葉中にある葉綠質（クローロフィル）と化合し葉綠質と同[illegible]の方法に依り永く天然色を保たしめ得る◆但し此方法に依り褐色海草の標本を造らんとする場合は少量の過[illegible]

生絲稍強調

輸出生絲市場は米國向大手筋の出動より形勢稍良好を示すに至りたる[illegible]買現はれ上一番武州[illegible]も物合[illegible]計約七萬斤の商談成立したるが上一番は前値千五百五十圓にて出來したるものあり又上一番信州丸十[illegible]れり（東京）

露國市場の將來と諸問題（八）
對露貿易に關する諸問題（二）
●露國會社法●

米國商業の露國市場に入るには二の方法あり。一は對露商業を營むの目的を有する會社を米國內に設立する事にして他は露國內に於て斯る會社を設立するにあり。露國法に依れば前者のみ之を『外國會社』と稱し、後者即ち露國內に於て外國人の設立に係るものは凡て之を『露國會社』となし、全然露國法の支配を受くるなり。

外國會社＝米國法の下に於て米國內に設立せられし會社は其儘にては露國內に於ては何等事業を開始するの權利を有せず。而して此の權利を獲得せんが爲には二個の條件を必要とす。第一には兩國間に之に關する特別協定の存する事を必要とし、第二には此協定に基づき各個の場合に付きて、露國內に於ける業務開始の勅許あるを要す然して第一條件たる米露兩國間の協定は一九〇九年五月三十日を以て決定し現今尚有効なり。第二條件たる勅許を受けんが爲には特別の願書に適法の形式に遵ひたる左記の書類と共に其露譯文を添附して提出する事を要す。

（一）會社の定款及び該定款が設立地の法令に遵據せるものなる事を證明せる米國駐在露國外交官吏の文書。

（二）會社が許可申請を爲さしめんが爲に露國に在る其代表者に與へたる委任權を證明せる駐米露國外交官の文書

（三）特許發明品の賣弘めを目的とする會社の場合に在りては該特許狀及其賣上金高並に目論見書を添付するを要す

（四）既に國外に於て事業を經營せる米國會社にして更に露國內に其事業を擴張せんとするものに在りては前掲書類の外株主總會の認定を經たる過去五ケ年間に於ける會社の貸借對照表、損益計算書を添付するを要す。

露國內に於て業務開始を許可せられたる會社は同國の一般法により、裁判所に訴訟を提起するの權を認めらる。然れども之が爲には責任ある代表者の存する事を必要とするが故に、外國會社にして露國に於て公認せられたるものは、會社の業務を代表し、會社の爲に訴訟を處理し得る責任者を設くるを必要とし此の代理人は會社の利益の爲にする行動の上に於て全權を授けられざるべからず。

露國株式會社＝露國の會社法に據れば會社は總て其設立の動機たる目的を定めたる定款を基礎とし、一に之に據らざる可らず。會社設立許可の申請書及び定款の寫には設立發起者の調印を押捺し其事業目的に該當する該務官廳に提出するを要す。會社が新發明品の發賣を目的とする場合に於ては發明の特許狀並に該發明を行使するの權利を證明せる書類並に發明者の承諾書を添付するを要す。定款中に掲ぐる會社の目論見としては左の事項を記載するを要す。

（一）目的及事業の價値（二）名稱（三）重役會議開催の場所（四）資本、株數、株券の價格、株式賣買の方法等に關する詳細なる說明（五）會社の希望する特權及び該特權行使の期間（六）存立期間（七）業務開始に關する諸件（八）株主の權利義務並に其責任（九）利益配當並に準備積立資金に關する細目決定方法（十）會社の業務執行方法、組織、理事の權能及俸給、株主總會の權限及其れに對する制限等に關する規定（十一）『イ』爭議解決方法『ロ』清算の方法『ハ』事業の特質より生ずることあるべき各種の事情に對應する方策

主務大臣は右の申請書と共に之に對する決定書を閣議に提出し其協贊を經べきものなるも、或る特權の許與を申請せるものにありては更に內閣の意見と共に之を皇帝に提出し其裁可を仰がざる可らず。

時局と鑛業界の契約問題（四）
辯護士　吉武繁

然らば不法行爲を原因として賠償請求が出來るか、否夫は出來ぬ、又不當利得を原因として賠償請求が出來るか、是も出來ぬ、と思ふ夫は別問題となるから次に讓る。參考の爲め茲に高等法院判決例を擧ぐれば大正五年に四月と十一月の二度に出て居る。其判決の要旨は『鑛業權者は自身に又は自己の責任に於て、鑛業代理人を以て鑛業を管理し鑛物の採掘を爲す事を要するものにして、其鑛業權を目的とし鑛業權者にあらざる他人に採掘の權利を授與し、之に鑛業の管理經營を一任し鑛物の採掘收益を爲さしむるが如き契約は無效なりとす。』由て鑛業權者が自己の責任を以て他人に採掘管理を經營せしむるは可なるも他人の責任に於て採掘經營をなさしむるは禁ずる事にて其契約は法律上効果を發生せず、即ち權利義務の關係を生ぜざる無効の契約に終るものである、或論者は鑛業權と鑛物採掘權とは別物である夫故に鑛業權は他人に委囑する事出來ざるも採掘權は他人に委ずるも支障なしと云ふも、鑛業權とは其鑛區內に於て鑛物を採掘し之を取得する權利と謂ふものと解釋すべきものなれば、鑛業權と鑛物採掘權とは別異のものにあらずと解釋するが正當ならんと信ずるのである、此點も同樣に判例として確定して居るのがある（大正五年十一月の判例）

▲賣買の附帶條件として他人に採掘せしめたる場合　鑛業法上鑛業權の賣買讓渡は許してあるが、其讓渡の附帶條件として鑛業權者が鑛業權を有せざる買主に對し賣買の良否に就き調査せしむる事がある、是は買主に充分なる資力ありて、鑛業權名義を書替へても、他日有望と極れば代金全部を何時にても容易に支拂ひ與れる程度に信用があれば、名義書替の上探鑛する事にする、然らば是れから申す問題は起らぬが、名義を書替へた後買主が果して代金全部支拂ふ事が出來るや否や、疑ひを挾む買主に對しては代金全部を受取る迄名義書替をなさず、賣主名義の儘に買主に探鑛せしむる事がある、斯の如き事情の下に面白き法律問題が起る、是れは重石の鑛業權賣買問題に就てゞある、買主は賣主に賣買代金の一部を手附金として交付し、一定の期間試掘探鑛し、若し有望であれば殘餘代金を支拂ひ、有望でなければ契約解除と同時に、探鑛中の重石鑛石は全部賣主たる鑛業權者に交付すると約したのである、買主は右約旨に基き該鑛山に於て採掘し其約定期間の經過するも、有望なるや否や、賣主に對する何等の通知がない、賣主は眞實賣買遂行の希望有無に付催告したるも買主は遂に暫く探鑛せざれば賣買實行決定し難し、故に一箇月待つて與れ、十日待つて與れと段々延期の結果賣主は待ちきれず、其鑛山の模樣が如何になり居るかと實地調査に行つたのであるが買主は其時既に其手附金の數倍の價額ある鑛石を採掘したる事を確めたのである、そこで賣主は買主に對し僅少の手附金を支拂ひ數倍の價額ある鑛石を採掘し、且探鑛期間は經過し、手附金拋棄か、賣買殘り代金を支拂ふ時期に到達し居れば是が支拂方を請求した、然るに買主は言を左右に付し中々其殘餘代金の支拂に應ぜない夫故に賣主は已むを得ず該契約に基き契約解除をなし、探鑛中の鑛石引渡しの請求をしたが、買主は好智に長けたるもので、直ちに該鑛石を手附金の數倍に賣却し、引渡しと同時に代金を受取り、知らぬ顏の態である、そこで賣主は契約解除となれば、其買主が採掘した鑛石は、賣主の所有であることの理由の下に、賣主は買主に對し該約解除に基き、鑛石が引渡さるるに依り、賣主の契約不履行に依る、損害賠償請求の訴へを提出したのである、徳義上から申しても契約上から申しても、買主は少し許りの手附金を支拂多大の價額ある鑛石を取つて逃げた形となり、買主が不徳であり、契約上から申せば其探鑛中の鑛石は賣主に返さねばならぬ、何となれば買主の探鑛は將來有望なるや否やを確かめる爲めの探鑛に過ないからである

並行線
瀧　閑村

（三十）

『江藤の娘を俺に買つてくれと云ふのだがね』

宮介を逐り出して、跡片付を終つてから、新聞を中にしてお夏と向ひ合つた時宮太郎は、打乗るやうに斯う云つた。

『へゝ、あのおのぶさんを？』とお夏も嘲る如くに答て、『大兄さんの話つて云ふのは其話なの、それで兄さんは何と御返事なすつたの？』

『俺は斷つたさ、斷つたけれど、大兄はもう一度考へてくれと云ふから、さうしようと云つて別れて來た、何でも一度何處かへ嫁つた女だつて云ふぢや無いか、俺は大仁で逢ふには逢つたから顏は知つてるが……』

『さうねえ、もう二十五か六でせうよ、私よりも一つ二つ上だつたから……まア大兄さんからの話だから、兄さんさへ宜けりや宜いやうなものだけど、よく考へて見た方がいゝわねえ。』

『俺もさう思つてる』

お夏には條件の話はしなかつた。調子の話もまだして無かつた。二つ三つ外の話をしたお夏は洗濯に立つた。

宮太郎は新聞を手にした。

歐洲戰爭は次第に激しくなつた。氣短な日本人の眼から見ると歯痒いやうに思はれる事もあつたが、飛行機の活躍や、毒瓦斯、潜航艇、タンク等の威力と相對した戰線の廣さ、兵員の數など一寸日本人に想像の出來無い位大きな數字だつた。海には獨逸の潜水艇が縱横に暴れ廻つて、聯合軍の汽船はドシドシ打沈められた。

此戰爭の大きい渦は遠い日本をも捲込まずには置かなかつた。日本國民は靑島を攻落した以來は、もう是で自分等の役目は濟んだやうに考へてゐたが、經濟上の影響は中々そんな悠暢な無自覺を許さなかつた。

染料、藥品、紙類、鐵類は缺乏して眞先にズンズンと暴騰した、從來皆國內で出來ると思つてゐた物が輸入が減退すると同時に、悉く外國の供給に待つてゐた事を知つたものも二三にして止まらなかつた、自給自足と云ふ聲が大きく強く叫ばれた、そして今更のやうに科學の不進步を嘆じ、泥棒を見て繩を綯ふやうな研究の結果、色々な工業が起つた、それと同時に聯合軍の一國からは武器等の大註文が殺到して、其等の製造も大規模に始まつた。今迄輸出しない物貨が、今迄輸出しない國へ盛んに日本製品を輸出するやうになつたので、國內の景氣は非常によくなつて、物價騰貴の聲を打消してしまつた。染料成金、鐵成金、船成金など、云ふ語が流行り出して、それが羨望の的、渇仰の的になつた。外國の辭書にすら、リキシャ、ゲイシャ、キモノ、と共にナリキンと云ふ新語を加へるやうになつた。

歐洲戰爭は氣候の關係で、割合に微温的な所だがそれでも色々な上總が勃興し、四割五割と云ふ配當をし、小さい成金が澤山出來た。

其日の新聞にはそんな事が幾つも記されてあつた。それは宮太郎の眼を強く射た。

『朝鮮が駄目だとすれば、俺も此方で一旗揚げなけりやならない。』

結婚なんかは犧牲にしたつて已むを得ない。——

宮太郎は亢奮して斯う心に叫んでも見た。

陣中即事　鐵研　戸田五郎彥
夜來飛雪舞珊珊。曉起觸巡露臉看。秋岳千尋聳玉樹。荒原一道碎銀灘。村翁共醉新年酒。野雀偏悲得食難。遙想歐洲戰場苦。陣中臨指不堪寒。　嵩堂曰　觀雪以想遠征、惻隱之深。

尋楓　斜村　新野良隆
問來石上酌芳醇。霜後楓林秋色新。斜照滿溪明似錦。晚鐘催送醉來人。　嵩堂曰　歸靜送人、亦復有趣

同　鐵研　伊奈信一
酒酣茅屋曲溪傍。石徑停車坐夕陽。秋入山村猶有信。半林紅綻半林黃。　嵩堂曰　詩人口吻

插梅　稻村　山崎集
暗香如水透書櫺。起折梅花插瓦瓶。黃鳥有情來又去。春風簾外裊餘聲。　嵩堂曰　梅花有情黃鳥有心

澄江如練　芳堂　三宅獅之助
斜陽一抹映晴川。瀲艷奔波泻碧天。兩帶歸帆秋散綺。誰將謝眺晚歸篇。　嵩堂曰　餘霞散綺、使人憶謝玄暉

同　桂園　竹內元正
水滿長江秋色殊。歸舟搖蕩入蒹蘆。晚風吹掃横塘去。波織細紋如畫圖。　嵩堂曰　寫入細景亦不纖弱

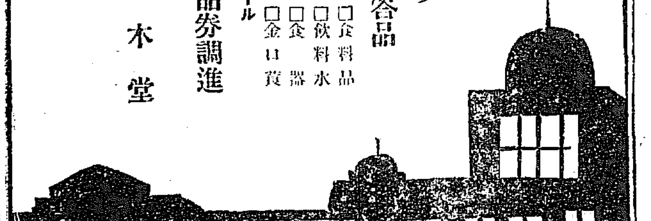
秋雨漸凉　樂山　遠藤鐵
一雨瀟殘暑。新涼次第遊。陰蛩鳴古壁。孤雁落前池。杜老草堂嘆。湘君斑竹悲。新書須勉勵。燈火可親時。　嵩堂曰　秋雨嘆無過今年矣

湖村秋曉　雲堂　長田恭
古岸傾欹樹露垂。曉風吹水冷霜浪。漁翁睡起蘆花竹。又到白雲紅葉邨。　嵩堂曰　秀麗可以題扇

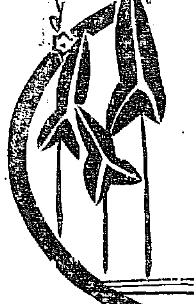
中元御贈答品

未だ中元の御贈答品御決定前なれば品質群を拔く優良責任附の
パイン萬年筆
を其の一部へ何卒御加入くだされたし
萬年筆は各階級を通じて喜ばれる頗る現代的の御贈答品であります（美術箱入調製）
無節採出式　六圓八十錢
節付インキ止　三圓八十錢
無節インキ止　四圓九十錢
學生號　二圓八十錢
ビジネス（事務用）　一圓九十五錢
京城本町壹丁目　電三〇七七番　パイン萬年筆製作所
京城本町貳丁目　電話六二四番　熊平京城支店
京城太平通　電話　京城日報社代理部

氣の利いた
中元の御贈答品
□和洋酒　□食料品
□罐詰　□飲料水
□洋菓子　□食器
□葉卷莨　□金口莨
□サツポロビール
共通商品券調進
京城　青木堂



•中元御贈答品•
□人蔘エキス
□人蔘箱入
□人蔘砂糖漬
□人蔘エキス飴
□人蔘コーヒ糖
□人蔘飴
□人蔘コーヒ
□人蔘粉茶
京城本町一丁目　津村兄弟商會



中元御進物用品
暑中
サッポロビール
アサヒビール
エビスビール
大日本麥酒株式會社　京城出張所

中元賣出し
京城本町二丁目
電話二十七番
電話四七五番
龜屋商店

御進物には
越の商品券
三越の商品券は東京、大阪、大連、京城の各店共通にして三越販賣の何品とでも御引換申すべく御手輕にして至つて御重寶
壹圓以上調進仕候
京城　三越吳服店

獨紙秋波を送る
講和に關する所論に於て

伯林オッシエツァイツング紙は、獨逸が容認し得る具體的講和條件を論じて曰く獨逸植民地恢復問題に至りては獨逸の政治家中一人として瞬時も之を疑ふもの無し然れども若し將來に於て獨逸が其所領たる南洋諸島を他國に賣渡すか或は是を何物かと交換するが如き交渉に應ずることするも獨逸が斷じて英國を對手として斯かる交渉を爲さざるは明かにして妙く共獨逸が目して將來太平洋を當然其の私益範圍たらしむ可き國と爲すべく亞細亞の某國とならんには恐らく會商折衝を辭せざらんと(倫敦電報)

獨逸議會の暗礁
投票を拒絶す可しと聲明せり

獨逸帝國議會に於てシャイデマン氏は、社會黨員は豫算投票を拒絶す可しと聲明せり(アムステルダム電報)

諾威丁抹と提携
スカンヂナビヤ聯邦の前提か

瑞典來電――諾威丁抹代表者聯合會の報告發表されたり右報告中に是等諸國は戰爭終結の際及び其後も引續き共に提携す可き旨を述べ居れり是スカンヂナビヤ聯邦の前提ならずやと思惟せらる(コペンハーゲン電報)

廣東攻略計畫

曹錕氏は經略使の名義を以て張懷芝氏に廣東攻略計畫を實施す可しとの命令を發せる旨參陸辦公所に報告せり其計畫とは湖南に於て第三師直隷混成旅に守勢を執らせ湖南にありし奉天軍三混成旅、江蘇軍一混成旅、山東軍二混成旅、安徽軍十六營を江西に進發せしめ江西にある江西軍一混成旅、江蘇軍一個師團、安徽軍十四營と混合し張懷芝氏是を指揮し江西の大庾嶺を越ゆ以て廣東に侵入するものなりと(北京特電)

廣東國會議事

廣東國會は法定數を得れば解散前に略議了し居れる憲法の殘餘條項を議定せる後議員選舉法を改定し相當選舉法を修正し然る後正副總統を選舉する計畫なりと(北京特電)

官銀號閉業

東三省官銀號營口支店は特換に堪へずして突然閉業せり(營口特電)

大阪より

△銑鐵高と輸入 銑鐵は英國の禁輸に次で印度の禁輸に逢ひ更に米國の禁輸に接し本邦への輸入は支那のみに止りたり輸入の減少による在荷の僅少に市價は其然的の昂進を呈し漢陽一號銑鐵四百四十圓の高値を示し居れるが其輸入狀態左の如し

月次	數量(千噸)	價格(千圓)
七年一月	一八、六六六	三、〇六〇
二月	一三、八八七	一、七七一
三月	一七、三〇一	二、〇八三
四月	三一、四九八	四、四六二

右の如くにして之を一噸當りの價格に見るに一月の百八十九圓より二月には二百四十一圓に進み三月には二百二圓と引緩み四月には二百三十二圓を示し居れるが如き狀態にあり而して最近本溪湖より相當の輸入あるを以て幾分市價の引緩みを見るに至るべしと觀測されつゝあるが何程の緩和を見るべきか否やは疑問なりと

△生糸暴騰頓挫 生糸界は大手筋の買見送に依り約旬日間鈍調を持續したるが廿一日以後原茂木輸出店の買付けに多少引緩りをなし廿二日には商館筋の買急ぎもの現はれ人氣更に昂進し信州上一番千六百圓の手合あり日曜明けの廿四日は更に二三十圓高の硬調となり遂に五十圓高千六百五十圓の新高値にて約二萬斤の手合成立し近來稀有の高勢を示したるが廿五日も買人氣熾なるも高値の爲め揚句一寸買惡く時期待の態度に變じたれば賣買共に睨み合の姿となり廿六日は大波瀾一過後の閑散狀を呈し三井其他商館筋を始め一般に沈默し居る一方には定期相場軟調に傾き一頓挫の傾向現はれ上一番千六百圓程に引下けを見るや益商談も難きが米國市場に於ける新品の商約定は極めて旺盛なる情報ありて買値頃には盛んなる取引行はれ又相場の昂騰は免れざるべしと

△米西伯利發展 西伯利亞は麻、大麻及び羊毛を産し特に麻、大麻は品質最も良好にして又産出量も非常に豐富なるを以て麻絲並に麻織物の有望なるは勿論羊毛も極めて有望なれば米國斯業者は西伯利亞に注目し其經營の準備中なるが麻産地の中心點はノーウオラコラエウスクにてヴイースク附近は甚だ良好なる耕作地にし

南阿棉作有望

南阿弗利加に於ける棉花事業の前途は頗る有望[illegible]
る棉作耕地は五十二百英町にして其內スルタンブルグの三千英町は最も多くウオーターベルグの二千[illegible]
[illegible]其土壤と氣候とが棉花に適當なるを發見し得可しトランスバール及びスワジランドに於ける氣候狀態[illegible]
る變化無きことは棉樹の成育に最も望ましき條件たり得可きが如し尚[illegible]に於ては低地の草[illegible]
通に信ぜらる、が如くに乾燥するに非ず雨量は十月より一月に渉り[illegible]
雨なきことは棉花生産に缺く可からざる要件にして此點に於ては北[illegible]
る棉花生産は最も將來期待す可きものたることは何等疑問の餘地なし
▲未發達の原因 然るに[illegible]る上に交通不便なるにより生産に從事するも賣却の困難ありて取引[illegible]能はず勢ひ之が發達を[illegible]
るものは土民にして彼等の生産せる南阿棉花は品質に於て米棉でッ[illegible]ドリフク[illegible]に棉花の供給を求め得べきが故大に注目に値する次第なり

て織物は長尺物に非ざるも一種の蒼色を帶て世人の嗜好に適するを以て米國工業者が其原料の改良と相俟つて織物の意匠を圖らんか大に發展するを得べき意氣込なりと

△揮發油高見越 揮發油は本年四月より既に數回に亘り一圓五十錢方の値上の決行し昨今引緒き氣丈の成行を示し居れるが右は米本國の運賃高の關係並に內地及び米國に於ける需要の激增したるに外ならず而して內地に於ける産額も大正五年に比し六年は七割八分の增加を呈し又米國よりの輸入も六割四分方の增加を示し居れるに斯の如く斷わず氣丈の成行を示せるは前記の如く需要の增加に依るものにして其方面は誤謬に非ず豆粕事業事用品としての異常の激增に其因するものなりと云へく猶大體の市況は依然として强含みの狀にありと觀測されつゝあり

△洋紙界強硬 四月中一割方の値上げ實行を協議せし洋紙販賣業者は先月中再び協議を開き更に幾分の値上げを協議せしも一部の不贊成ありたるもの、如く具體的の成案を成すに至らず各自適宜に販賣上に手加減を加ふる事とせしもの、如きも新聞紙用其他一般の需要は現在の原料を以てせば到底供給し能はざる實狀なれば初秋にも入らば更に値上問題再發するは必然なるが如し(大阪支局)

期米暴落と暴利取締令

昨秋の惡天候にて供給不足の聲高く一面政府の米價調節策行はれしも人氣は之に反抗し正米高に連れて暴騰に次ぐに暴騰を以てしたるより政府もあらゆる手段を講じ米價の暴騰を抑壓せんとするの時に際し大阪に於ける有力なる賣方の出動するあり茲に定期市場に向つて大袈裟なる賣聯合成立し相場の崩落を企て流石に頑强を極めし相場も十崩潰の端を啓き爾來暴落に次ぐに暴落を以てし六日後場は終に立會を停止するの止むなきに立至れり今回の大阪に於ける賣方は米價調節の美名の下に巨利を占め居るに反し買方は實に慘憺たる境遇に陷り位置を顚倒するに至れり斯る場合大阪の例に倣ひ東京其他各市場に右の如き手段を弄する者續々として顯はれ來らんか終に定期米に向つて買を試みんとする者なきに至らん仁川取引所に於ても內地より大手の賣方顯はれ買方は結束して大袈裟なる買占めを爲し居れりとの說あり夫か非ぬか仁川當中限は本月一日後場より立會停止にて先限のみ立會居りたるが大阪の暴落を報ずるあるも影響せず二十二圓臺を維持し居りたるに八日前場に至り遂に二十一圓十五錢に大暴落を爲し沮落整理の爲め一時立會を休止したるが內地より買占めに來りたる理由は種々あるならんも要は暴利取締令なきを奇貨とし巨利を占めんとしたる言を俟たず斯る徒輩の再來せざらん事を防止するには朝鮮にも暴利取締令の施行を必要とすと某氏は語れり(仁川)

朝鮮産金減少
前途の復活俄に望み難し

昨年來減少一方なりし朝鮮の産金狀態は大正七年に入つてその減少更に著しく斯界の前途憂慮に堪へざるものあり上半期に於る産金總額は約三百二十萬圓なるが之れを前年同期に比し六十餘萬圓の減少を示し居れり

▲憂ふべき減少 卒然六十萬圓の減少と云へば産金總額三百餘萬圓より見て必ずしも多からざる如けれど朝鮮産金の主要部分を占むる外人經營の平北雲山苗洞の遂安並に忠南稷山等の大金鑛はその利益率に於て前年より減少し居るらしきも産金量は殆んど差なしこの事に付結局六十數萬圓の減少は內地人並に鮮人經營金鑛の産出減と目すべし而して之れを割合より見れば雲山遂安稷山の産金額は朝鮮産金總額の六割強を占め居れりと云ひ得べく乃ち昨年上半の朝鮮産金額約三百八十萬圓の六割とすれば二百二十八萬圓を算し內鮮人の採金は百五十餘萬圓所なるべし右の內より六十餘萬圓の減少を見たるは率に於て少なしと云ふべからず

△産金減理由 何故に産金減を來せしやと云ふに(一)ダイナマイト、青化加里水銀八角鋼等の採金材料が一齊に高騰せる事(二)兼二浦製鐵所の開始その他事業盛況を呈せしせめ勞働者の不足を來せると物價の騰貴は自然勞銀の騰貴を促したる事等を擧ぐべく結局採金作業用の勞力並に材料は著るしく昂騰せしも生産品たる金は一匁五圓の値を動かずコレ小鑛山並に十萬分の二以內位の含金鑛石を掘り出す金山は到底利潤不引合となりし由にて作業の中止せる所に現はれ初めたるなり

△鑛石移出 最も鎭南浦の久原製煉所が金鑛石を買收し含金粗銅として內地に移出しある高も少からず又藤田久原等にては鑛石の儘內地製煉所に發送しつゝあるもあり結局廣き意味に於ける朝鮮の産金は多く減ぜざるやも知り難きが要するに鮮內の採金製煉著しく減じ居れり

△復活期奈何 尚ほ坤金の密輸出廻り減の一理由として金の密輸を企つるものあるやにて最近平壤にて此種の犯人を逮捕せる實例あり又平壤にては一部に於ける純金の取引匁五圓七十錢を唱へ裝飾用として支那人に賣渡しつゝある者もなきに非ざる如しこの事なるも之等は素より大勢を動かすものと云ふべからず要するに朝鮮の産金は材料高並に勞銀高に災せられ稀有の不振狀態を呈しつゝある際にて此の暴騰せる物價並に勞銀が平調に歸せざる限りその復活は俄に望み難かるべきか

財界新機運
輸出入品增減理由

內地輸出入主要品目に付昨年同期との對比及び其の增減理由を見るに左の如し輸出の部に於て米は內地市價暴騰の結果半額以上の激減あり茶は未だ米國制限に觸れなかつた爲め

□百六十萬圓 を增加し精糖は原糖供給不足を惹へたる結果約二百萬圓を減じ輸出の大宗たる生絲は制限令の威嚇を受けながらも未だ實際的影響なく且前年來の豫約品も多かつたので千五百萬圓以上增加し同樣に羽二重も八百萬圓の增加を見府綢系も尚ほ五百六十萬圓を增加して居る同じく綿系に於いては約二千四百萬圓の激增あり綿織物に至つては四千萬圓以上の大激增を見た我紡績界の鼻息の荒いのも此好運に際したからである銅は米國の生産力が激增した結果が却つて三千三百萬圓以上の輸出激減あり亞鉛も同樣六百餘萬圓を減じ製帽眞田に至つては

□屢々悲觀說 に壓迫されて居る燐寸は四十五萬圓許り減じて居るが依然として輸出旺盛を極め約四百萬圓を增し陶磁器も約三百萬圓を增加し昨年來の悄力を維持して居るが夏帽子は卅萬圓以上の減少となつた更に輸入の部に付きて見るに政府の食糧補充策に關聯して米穀は約二千萬圓を增しゴムの如きも需要激增の結果二百六十餘萬圓を增加し智利硝石一時悲觀されたるも幸ひに輸入杜絕の難に遭はず却て百四十餘萬圓を增加して居る問題の綿花に至つては所謂原料管理政策未だ英國より發動し來らず却て

□順調に輸入 された結果無慮一億五千萬圓の激增を示し羊毛も表面の制限令は手嚴しいものあるに拘はらず政府の交渉大に努むる處ありし結果分讓の諒可なりに多く是亦千五百萬圓の增加と爲り東洋工業は元より一般毛織業をして蘇生の思ひあらしめた。鐵材は地、錠、條竿、板、管、等を通じて皆輸入を增加し總額に於て實に一億二千五百餘萬圓の激增となつて居る、鐵材と殆んど同樣困難に苦しみつゝありしも工業家の種目に屬すべき諸機械類は輸入が百方奔走の結果意外に米國より買收し來る便を得僅に一千二百五十萬圓の

□增加を示す に至つた其他豆類、砂糖、皮類、油粕、パルプ製紙等も百萬圓乃至五六百萬圓の輸入增加を見工業原料や肥料等の需要に對しては相當に供給されて居る譯であるから結局我生産力を增加したる意味に於て毫も悲觀するに足らない今後の問題は要するに輸出貿易が支障なしに進み得べきか否かに在るのである(東京)

多島海航路
伊藤海事課長談

近時頻々として起る朝鮮多島海に於ける船舶遭難に關し遞信局海事課長伊藤定弘氏は曰く朝鮮沿海に起る船舶遭難中其大部分は多島海なれば一般世人は多島海を目して甚だ危險區域の如く感じつゝあるが事實同地域は群島點在するを以て深淺常ならざるに付船舶航路としては甚だ物騷なる地域に屬すれども併し遭難全部の原因は必ずしも天災的不可抗力のみと見做す能はず同所は內地山東角間の航路中最も捷徑なる通路なりと雖も群島多きを以て船長は充分なる注意を施せば大過なからんも航路不案內と不注意とより屢々大事を惹起すならんと想はる要するに最も安全なる方法は大黑山島の南三十哩を航行せば概して安全なれど時間と經費節約のため七發島附近の危險區域を航行するのみならず甚しきは同島の霧砲信號を聞きて自船の位置を知らんと欲し接近し來り時潮の測定を等閑に附する等の結果常に位置の安定を失ひ不測の禍を招くことも決して尠しと云ふ能はず

內地人郡守(七)
(海州) 下阪重行氏

氏は明治元年福岡に生る明治二十八年同縣遠賀郡書記に任ぜられたるを振出しに三十四年臺北縣屬となり三十九年關東都督府屬に轉じ四十一年

◆朝鮮 に來り平壤在勤理事廳屬となり後平安南道安州郡書記より忠清南道學務主任全羅南道學務主任等に歷任した人で植民地の事情に精通せる事は

◆新任 郡守中の唯一人と稱せられてゐる氏を道廳に訪へば折から不在中であつた某氏曰く『氏は滿洲朝鮮の事情に通じて居る許りでなく郡書記として

◆直接 地方行政に携はつた經驗上郡守としては必ず優秀の成績を擧げ得る事と信ずる』

府尹郡守懇親會

目下京畿道府尹郡守會議の爲め入京

朝鮮彙報 七月號

主要なる記事としては稅關長道慈惠醫院長、典獄、司法官等に對する長谷川總督の訓示を始め伊藤遞信局海事課長の『朝鮮に於ける海運事情』國分司法部長官の『共通法に就て』其他調査及び研究事項、地方事情、雜錄統計等を輯錄せり

▲八木奘三郎氏(關東都督府博物館囑託)十日夜北行列車にて赴任の豫定
▲高湘翔氏(釜山日報社長)八日不知火へ
▲江崎篁彥氏(古河合名會社庶務課長)八日夜退京
▲葛原猛吉氏(稷山金鑛支配人)同上

三鬪百種

昨日本欄に書いた明石將軍の車中談に對して此處にも面白い話がある▲佐藤鋼次郎中將と云へば軍事批評家として近時新聞に雜誌に大に名を揚げて居るが▲將軍は皇室中心主義者で若くは大和民族の不利益になるやうな議論をする者があると猛烈起つて戰を挑む▲嘗ては尾崎咢堂君に喰つて掛り松波博士と大筆戰をやつたものだ▲特に松波博士とは筆戰數合に及んで勝負決せずドンの詰りが博士から『膝詰で論戰しよう』と申込で來た▲すると將軍は『筆戰で解決が出來ぬものを膝詰で議論して見た處で埒の明かう道理がない此上は唯剩す所腕力あるのみ宜しく決鬪して最後の勝敗を決しよう』▲と返事したので流石の博士も之には忽ちヤアノンと參つたとか▲最う一つ豪傑將軍の話がある之は長岡飛行將軍が此程近衛隊の若い將校を訪問した時▲將軍グッと若返つて打解けた話の末『お前達は新宿の遊廓楼へ幾度行つたか』と問いた▲將校連が幾なく顏してまだ一度も行つた事はありませぬと答へると▲將軍得意の笑顏をしてこう『今の若さで遊廓を知らんとは怪しからん』と大喝▲處で後で新宿通に聞くとそんな女郎屋は最う二十年も前に廢業したと判り將軍もギヤフン▲『イヤ矢張り老人は老人同志話すに限る』とは將軍としては少々弱音なり▲最う一つ同將軍のシルクハットは十四年前英國で仕入れた古物である▲先達て買換る積で或帽子屋に見せると之は最新流行の型でまだ餘り日本へは參つて居ませぬと聞き▲將軍急に鼻高々と君それは今度三越で取り寄せた帽子だよと帽子屋を煙に卷いて之は大得意

新理學博士
京城醫專の小林講師

京城醫學專門學校講師小林晴治郎氏は八日理學博士の學位を授けられたり(東京特電)

小學教員受檢講義

立身の捷徑は先づ就職容易なる小學校教員となるに限る全國其不足實に四萬名本會は學識ある師範學校教頭大家を先生として懇切速成に教授し受驗就職の便を與ふ 正科一年 尋常科六ヶ月 本會則申込次第進呈 東京小石川局區內 帝國師範學會

珍品書畫陳列廣告

古來北京に於ける古今名人の書畫玩物の高雅なる逸品非常に多かりしも方今其大部分は大家紳士の珍藏する處となり市場に出る如きは甚だ稀に見る處に候處今回弊方に於ては古大家珍藏の粹を拔きたる逸品多數を輸入陳列致置き候間御散步旁々各位の御光臨御賞翫の程願上候

京城長谷川町 北滿研究會下屋 翰墨林告白

藥草栽培販賣法

有利の副業藥草栽培せよ 東京大阪八新聞に大賞讃を博す サフラン栽培は容易にして收益多大一斤三十圓以上に本會にて引取る 一球三倍にふゆる千個五圓內外 商家官吏の小量栽培は四季珍花を眺め娛樂的副業として利益頗る多し本書は二十種の栽培法、販賣法、精製法、效用一反步の收支計算あり本書定價金九十五錢送料共特別一圓引換小包は一圓十六錢で送本す 東京九段招魂社脇○振替東京三一四七二番 鳥代虎藏著○金文字天金箱入美本電氣版卅圖・總六號活字全部かな付

サフラン母球廉價分讓 定價表郵券封入申込あれ郵送す

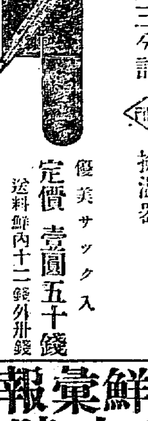
債券公債所持者は安全にして一擧兩得の利殖策
確實にして趣味ある貨殖捷徑策
小資本にて面白く安全に金儲を欲する眞面目なる方は直に申込あれ內容詳細書無料送附す
大阪市北區曾根崎上二丁目一七二(電車通) 貨殖普及會

本年今回新聞紙上掲載にかゝる全國一般債券月賦販賣禁止云々の件に就ては弊社は其筋の認可を得て從來通り營業致候間御安心の上御申込被下度候 敬白

神戸市相生町四丁目百貳拾五番屋敷
大正三年創立 報國公債株式會社

◎割增金當籤廣告
慶北尙州邑內
一金壹千圓也 當籤者 月賦購買者 尹龍淑殿
右ハ當社月賦ヲ以テ勸業債券第三十二回第六五一五七號ニ對シ本月一日勸業銀行ニ於ケル抽籤ニ當籤ス
京城府若草町百六番地
債券公債月賦販賣 報國公債株式會社朝鮮支部 長電話二〇 振替口座京城六五九番
◎月賦購買御契約ノ方ハ御疑念ナク月賦金御拂込被下度候也

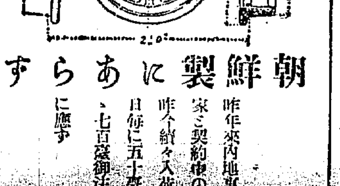
▼パラチフス=家庭必備=檢溫器
模範的三分計 FINE 檢溫器



優美サック入 定價壹圓五十錢 送料鮮內十二錢外卅錢
農商務省標準器に準じたる特製品 パイン檢溫器
京城大平通 發賣元 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇

朝鮮總督府編纂「最新刊」
東部 西伯利地圖
定價金參拾五錢 郵稅二錢
右部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候
京城太平通 發賣元 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇

チルドル製
在庫七百臺
土工用車輪



朝鮮製にあらず
昨年來內地專門家と契約中の處昨今續々入荷せり日毎に五十臺づゝ七百臺御注文に應ず
東京鋼機株式會社 東部製鋼株式會社 中根式鑛山用品製作發賣元 ○虎印八角鋼
朝鮮總代理店
京城南大門外 電話一〇〇四番 一〇〇五番 中根商會
京城岡崎町 電話二五六番 中根工場

朝鮮彙報
□大正七年七月號(毎月一回) 定價二十五錢 郵稅一錢五厘 △廣告料一頁金七圓 △販賣店朝鮮內地各書店
口繪
□稅關長に對する總督訓示
□道慈惠醫院長に對する總督訓示
□典獄に對する總督訓示
□司法官に對する總督訓示
(研究及調査) ○次代國民の改善と學校[illegible]
朝鮮に於ける海運事情
共通法に就て(承前完) 國分三亥
地方事情 小作慣例に關する調査
雜錄
統計

朝鮮彙報 地方號
大正七年六月號 毎月一回(定價十二錢 郵稅一錢) △廣告料一頁金六圓 △販賣店京城大阪屋號書店
口繪(△平壤公立農學校に於ける實習狀況[illegible])
□地稅令改正の要旨
□地主に對する希望
研究資料 ○使用料及手數料に就て ○大小麥優良品種普及の狀況[illegible]
地方通信
雜錄
例規

外科 內科 小兒科 皮膚科 花柳病
島崎病院
入院隨意 診察夜九時迄 本町通り左に入る京城旭町一丁目 電話二七三六番
院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一

▼土地氣候が適度の……數字に就て見れば南阿聯邦に於け……なりと云ふ而して聯邦州内の到る處……耕地に最も適當せるものなるが……又降雨の狀況を見るに南阿は……

栗の花 ◇寺に住めば人に疎まれ栗の花◇

美しい日本の婦人服
コ殿下世界の最美と激賞さる
◇美點と沿革 ──下田女史曰く

袖と裾の長いのは美しい──衛生的なは奈良時代

タイムス東京通信員がコンノート殿下に拜謁して殿下より御來朝中の御感想を拜承した一部は既報の通りでありますが、尙

▽……日本婦人の風俗について『日本婦人の一のチャームは其衣裳なり、予は我婦人の和服を廢して洋服に改めざらん事を切望す、婦人の和服は世界に於ける最もアトラチーブなる服裝中に加ふべきなり』と語られたといふことを報じてゐます、それに就て下田女史にその沿革と美點をうかゞふと

▽……日本服は奈良朝以前のですと餘り古いので、細かいことはよく分りませんが、何でも袖が細く下は袴のやうなものをつけ、それに草木の花や葉を摺つて模樣にいたし、曲玉、管玉、牛花などをもつて頭、頸、腕、裾、足くびなどに飾つて居つたらしうございます。夫が

▽……奈良朝になりまして、支那唐代の婦人の服を大分參酌してまゐりましたのが所謂（天平式）なのでございます。天平式の服は一番下へ細い袖のを著まして、その上へユキも袖も長いのをつけ、下へは袴をはき、上へ裳をかけ、其からヒレをかけ

▽……玉をかざつてゐたのでございます。其時代は織物も染物も非常に進んで居り、綾り染とか纐纈などの技巧は却却勝れて居りました。やがて平安朝になりましてから、服裝は大分變化して所謂百人一首などの繪に見るやうな世に云ふ

▽……十二一重になつたのであります。あれは一番下に小袖を著、それへ長い袴をつけ其上に單衣、打衣、五つ衣、桂と漸次にかさね夫から唐衣をつけていちばん上へ裳をかけるのでございます。が、此服裝は餘程美術的のものでございました。裂地は刺繍、消、或は織物などで、いろいろな美くしい模樣を現はし

▽……色目重ねなどゝいふ美しいものを共に、四季折々の植物などの色に象つて一般に用ひてゐました。例へば卯の花襲ねと申せば表は白で裏は萌黄、撫子襲ねと云へば表は紅梅色で裏は萌黄、黃藤襲ねと申しますれば、表はうす紫で

▽……裏は濃紫と云つたやうな類ひで、それはそれは實に華やかで美しいものでございました。夫が一變して鎌倉時代になりますと、多くの婦人が袴をやめて單衣に小袿をかさねるやうになり、それから徳川幕府時代から小袖にうつり漸次お振袖に褊褊をかさねるやうになりました。夫迄は非常に華かで美しく、所謂千代田の

▽……大奥式であつたのであります。ところが、それから何うしたことか、御殿の風俗と下々の服裝が別々になり、元祿時代になりますと、身分のある人は褊褊を著るやうになり、其後は帶附は帶附にかはつてまゐりました。帶附はふうわり著た著物の上へ一寸五分位の幅の帶を附け

▽……紐を結ぶやうな格好に締めたもので、この姿は美といふ立場から見て餘り感心したるものではございませんでしたらうと存じます。その後、帶の幅は段々廣くなり、百年程前から只今のやうにグッと廣いものを締めるやうになりましたので、やはり細い幅のものよりはこの方がよろしい樣です。

▽……美の點から申したら、これほど美しい服裝はございますまい。然し、これを衛生的の立場から見ますと、一寸困るのでございます。衛生的から云へば却つて奈良朝時代の方がよいやうです。奈良朝のは先にも申しました通り、下に筒袖を著て、袴をはき上へは袿のやうなものをつけてゐますから、美術、衛生の二方面孰らから見ても宜しいやうに思はれます。

動物園の人氣者 ｛象｝
◆食ふは飲むは 一番の好物は砂糖
図體は甘くてもカラ坊ちやん

◆象は陸棲動物中最も強大で最も長生きする動物である偉大な體は彼の生命である其巨大な體軀から長い鼻をぶら下げてゐる處は隨分不格好なものであらう、世界で一番鼻の低い動物は猩々で一番高いのは象である

◆上野恩賜動物園の象は五六年前有名な獸苑のハーゲンベツク動物園から買入れたものであるが體量八百十三貫、鼻の長さばかりでも六尺からある、象の命は普通二百年と言はれてゐるが甚麼死の象はまだヤツト十八歳、三十歳が成年期だと云ふから此點から云つてもカラ坊ちやんである

◆ハーゲンベツクから買入れた當時は種んな藝を知つてゐて『お辭儀』と云へばあの巨きな図體を横にする『お手』と云へば直ぐ四斗樽のやうな肢を上げたものだ相ながこの頃は陸と遣らない

◆図體が巨きいだけに食ふは飲むは、何んでも一日に乾草十貫目、藁十貫目、フスマ一斗、大豆一俵、馬鈴薯三貫目、水一石、砂糖百目なペロリと平げ時々ビスケット、角砂糖と云つたやうなものを追與つてゐるが夫でも尚足らずして、流汗に吸いてやる見物人も食ふ相な、驚く勿れと云つても聳かずには居られまい

◆一番の好物は砂糖であるが面白いのはこの砂糖を貰つた時で直ぐには食べない、一旦口の中で砂糖水を拵へた上鼻の中に吸込み、其儘師に鼻を垂して暫くは砂糖水を上げたり下げたりして充分樂しんだ末少量宛口に持つて行くと云ふ變つた喫び方をする『その時は君本當に嬉しそうな細い目を益々細くするから』と係の人は云つてゐる

◆何時でやこの象が病氣に罹つた時、獸醫が藥を與へるのに一本飲ませたが、ウイスキーを飲ませたが眼を細くして喜んださうである、又此當時のことゝやら、世話係の傭人が象のウイスキーを二三杯チヨロマカシ、好い機嫌に醉拂んだ拍子に頭から小便を浴せられたと云ふ滑稽もある

◆商牙にも懸らぬと云ふ事があるが、象の牙に引摺られたら大變である、この象は印度產であるが亞弗利加象になると牙の長さ十尺、目方二百三十封度はあるさうな

人形の首を燃料に
米國の玩具輸入禁止で困つた人形屋

米國が玩具輸入禁止を行つた爲め東京の玩具製造者は大恐慌を來し解禁を運動したが迚も駄目らしいのでせめて▼▲約定品だけでも米國が輸入を許すやうにして貰ひたいと輸出玩具業組合長兒玉喜一は三日午前十一時農商務省に出頭藏川工務課長に面會して種々懇願する所があつた東京の玩具製造業の目下の窮狀を聞くと氣の毒なもので一昨年六百萬圓も輸出した米國向の玩具が全然輸出が出來なくなつてから下谷淺草日暮里にかけて▼▲家庭工業として輸出玩具を拵へてゐた七萬人の職工は悉く失職し三百軒の輸出玩具製造者は工場を閉鎖しなくてはならぬ狀態となつた殊に氣の毒なは山程拵へてあつた米國向の人形の首で之は內地向にもならない所から炭俵に入れて一俵幾千と云ふ安い値で▼▲燃料として賣り拂つて居る事である尙ほ米國行は全然見込み無い今日では支那南米等に新販路を求めるの外は無いと組合では苦慮しつゝあるが南米にしても一ヶ年五十萬圓位が精々らしい（東京）

京元線被害
豪雨のため隧道崩壞す

京元線高山三防間六號隧道入口は七日夜來の豪雨の爲め崩壞せるを八日午前六時四十分元山驛發汽車之を發見せるも復舊の見込なき爲引返し來れり猶鐵道用電信電話も爲めに不通となる（元山特電）

女子高師生 青島へ
今年は朝鮮には來ない

熱心なる旅行鼓吹者たる湯原元一氏を校長に戴く東京女子高等師範學校では暑中休暇を利用して年々各方面へ旅行を企てゝゐたが今年は例年の滿鮮方面を廢し青島から大連旅順に向ふ旅行團を組織し生徒を廿一名として矢部教授以下四名之れを引率して十一日午後九時出發八月三日頃歸京する筈なりと

馬賊跳梁
四方頭の部下七十八名住民に殺された僚友の亡靈に酒食を供へ今年內に必ず復仇すべしと誓ふ

◆住民拉去 六月十五日午後十時頃各自銃器彈藥を携へたる馬賊約十二名は平安北道土城憲兵駐在所對岸北方約二十町鮮安縣于塔溝に現はれ三手に分かれて附近民家を襲ひ金品を强奪したる上住民二名を拉し奧地山中に逃走し爾來同地方住民一般に恐怖し居れり

◆富豪を人質 尙五月二十七日對岸安鮮縣聖堡大崗溝五道陽岔支那人富豪傅希山方を襲ひ主人傅希山を人質として拉去せる頭目鐵築山以下二十九名の馬賊は其後六月十八日再び同地に現はれ傅の家族に對し同十八日午前中に金一千二百元を提供せば放還すべしとの脅迫狀を送達し一面同地支那人商人永增祥方を襲ひ金品强奪の上同家に火を放ちて全燒せしめ約八千圓の損害を與へたる後再び附近山中に逃走せり其傅の家族は金一千二百元を調へ五道陽岔岩に持參し該金を馬賊に提供の上傅希山を連れ歸れり右に對し附近支那軍隊より討伐のため約卅名出動せり

◆塾生を殺す 六月二日午後六時頭目城北（三七）の率ゆる馬賊約七十五名は露國式銃を携帶し撫松縣方面より安國縣秘道子に來り同地元塾教布教所を襲ひ當時在所せし塾生三十名の中年齡七八年の者七名を拉し該生徒の父兄に對し兒童は現金七千圓を提供せば直ちに放還すと放言し白河と三頭白河との中間山中に立ち去りたるを安國縣十腰子民兵長趙守京聞知し翌三日部下四十五名を率ゐ之を同山中に追擊し同日午後一時より五時頃に亘り交戰し前記生徒中二名頭部に貫通銃創を蒙りて即死し民兵二名戰死し遂に民兵側の敗北となりたるが馬賊側には何等の被害なかりし模樣なり

◆復仇の祭 六月八日馬賊頭目四方頭は武裝せる部下七十八名を引率し露國式銃器を携帶し安圖縣白河に來り昨年九月同地附近にて官兵の爲め斃されたる馬賊十九名の亡靈に對し酒食を供へ頭目四方頭は今年內に必ず復仇すべしと靈前に誓ひ安圖縣松風溝門の山中に引揚げたるが之を聞知したる內島民兵長戰永魁は大に恐怖し部下と共に避難準備中なりと

下關で逮捕
乘二浦から逃げた材木詐欺

去月一日以來下の關西細江町旅人宿吉野館事藤本トメ方に廣島縣佐伯郡久知村字崎小田登と稱して投宿し夜間は新地町貸座敷松月樓其の他市內料理店等にて遊興する擧動の不審なるより陣署小野刑事井角巡査の手にて取調の結果小田登は僞名にて本名は廣島縣佐伯郡和村新市友一（三四）と云ひ本年三月朝鮮黃海道兼二浦木挽職竹內甚太郎方に滯留中五月二十七日黃海道延白郡廳下人朴容龍より材木二千八百八十本の賣却方依賴を受けたるを奇貨とし自分に於て賣求すると稱し代金三千餘圓の內手附金三十圓を支拂ひたる儀兼二浦質店入江好太郎を欺き同人に立合せたる上入質六百圓を詐取兼二浦遊廓に入豪遊の後同月三十日頃下の關に來りしものなる事判明したるが同人は此外本年一月頃廣島縣山縣郡河內村本家淸太郎方に於て金百圓六月十五日午後十二時頃市內蛭之町一方亭不田料理店に登樓飲食費十七圓七十二錢を又六月十七日西細江町藤川つね方にて宿料六圓餘居巨町料理店磯廼屋方にて三圓五十錢等の無錢飲食をなしたることも判明目下引續き取調中（下關）

元山の豪雨
九日相撲六ヶ敷かるべし

元山にては夜來の降雨激しく正午の雨量百十八粍（一寸一分二厘）を算し今尙激雨止まざれば風行相撲九日の初日興行は六ヶ敷かる可し（元山特電）

◆豪雨と鐵道 七日夜來別項の通り各地に豪雨ありしも京元線を除くの外其他の線路には八日夜中迄何等の故障もなかりき

好く降り好く吹いた
中心は平安南北、黃海道
兩江益々增水

七日來の降雨については一部夕刊所報の通りなるが北後低氣壓は東北東に進行八日正午淸川江附近に達し同夜咸鏡南道を通過して日本海に進出せんとしつゝあり、七日夜來の風雨は大同江、淸川江附近を中心とし八日午前十時迄に百粍以上の豪雨を見たる所勘からざりしを以て淸川江、大同江は今後尙ほ增水を免れざるべし（八日午後四時觀測所報）

▼稀らしい暴風
雨量は谷山が第一

七日來の豪雨は平安南北道、黃海道を中心とし漢江流域は割合に雨量が尠かつた八日午前十時の報告による雨量の最も多かつたのは黃海道谷山の二百十七粍（三尺六寸強）で次は瑞興の百二十七粍（三尺五寸強）同新溪の百二十一粍（三尺一寸強）平南成川（二尺八寸強）と云ふ順位であるが京城は同日午前六時から午後四時迄に十一粍八しか降つて居ない然し風は却々强く秒速十米突を示し雨を横樣に叩き付け立樹の梢に亂るなど一寸物凄い光景を呈した位京城では珍らしい暴風である（觀測所長談）

▲訂正 夕刊記事中京城の雨量を五十粍とせしは五十粍の誤り

◆相撲勝負豫想懸賞
當選者氏名發表
全部的中者三百卅名の多きに達す十一日から賞品發送

本社が東京大相撲興行中讀者諸君のお慰みとして募集せる勝負豫想懸賞の答解は締切までには七千二百五十四通の多きに達しその內より全部五組の的中者を選びたるに三百三十六通を算するに至れり然して更にその內より入賞者の抽籤を行ひたる結果左記の通り決定せり賞品は十一日より發附すべきにつき京城市內の當籤者は直接本社へ出頭せらるべく地方の分は本社より送附することゝせり

△一等一人（サッポロビール大瓶四打入）
京城竹添町三ノ八八　山口光枝

△二等三人（サッポロビール大瓶二打宛）
京城黃金町東洋拓殖會社內　中山俶雄
大邱府元町二丁目三　大田半平
平壤旭町二十七番地　恒成錄郎

△三等五人（サッポロビール大瓶一打宛）
京城本町四ノ八七龍谷公郎▲仁川仲町山本吳服店內滿島吟七▲仁川京町中村寬一▲大連大山通二丁目睦商會出張所山本嚴▲釜山埋立新町豐田商店內町田豐一

△四等十人（上等卷煙草一箱宛）
京城○町一の八二小森商店內堀口善次▲龍山漢江通十一の四十六吉賀ヨシエ▲安東縣市場通七丁目中原商店小川健一▲開城北本町山本竹透▲京城大門通二土佐紙會社岩崎生▲平南鎭南浦三和銀行內久米田義之助▲京城旭町一ノ六二藤田鋳業會社內瀨戶助雄▲大田春日町一丁目二五の六信貞一▲度支部關稅課岡本啓次郎　京城南大門通一丁目基督教青年會內會田

△五等二十人（福袋一個宛）
南滿洲大石橋大街永升支店隣田中宇三郎▲大田春日町一丁目八七の一八尾姉▲水原郡南陽台川崎▲鎭南浦旭町石川繁雄▲鳥致院本町大井田唐方藤野英助▲京釜線英江吉原義男▲京城本町花月內渡邊川米三郎▲京城本町有春樓內今井直七▲龍山陸軍倉庫戶田三吉井町一丁目五七三浦周吉▲京城西大門町一ノ一八七福井浩宅西四號永田和治▲江原道春川郡春川面久武印刷所內淸水萬里男▲京城櫻井町二丁目八三野口關三郎▲釜山牧の島井石治郎▲京城府北內西王女安州驛前金山西村伊之助▲滿洲四平街石川勇五郎▲公州□□九細野貞依▲高崎市新紺屋町金子隆衛本齊忠三郎

謹告 官報廣告
一、製鐵ノ……詳細ハ七月二日以後ノ朝鮮總督府官報ニアリ
大正七年七月二日 光州監獄

京城古市町 電話二七四六番
畑硝子工場
工場特製入瓶エキス瓶……に限る其他一般の御注文に可應候
主 畑六一

京日案內

下りはらには 健胃整腸散に限る
京城明治町小川の

小川家畜醫院
京城明治町

求 牛乳配達（內地人十八歳よ）
平山牧場

內地人女子募集
總督府印刷所

店員入用
齋藤商店
電話一八一〇番

日鮮人外務員招聘

最新刊
琢京精義
朝鮮法規提要
株式會社會計
西洋通史
實力養成法
西伯利亞號
大阪屋號 京城本町

サック 張ノ保證特製品
東京市芝區愛宕町 丁子堂

月やく
森田屋

時計貴金屬指輪眼鏡商

京城本町二丁目
三浦天龍堂

夏紺セル洋服 多數
夏紺小倉洋服 多數
冬物絨服 同外套
冬小倉服 毛皮胴着
チヨキ各種 多數
軍隊拂下品 一式
和洋中古衣服類 一式
新調洋服類
官衙拂下品販賣 金子商店

りん病 請合藥
ばい毒 請合藥
ドラック商會 京城支店
▲にせ物あり御注意▼

製造元とのやくそくで
割の安い品そろいの
大おしろ店
仁川本町
河野本店

御使用先
朝鮮陸軍司令部其他諸官衙廳舍
龍山鐵道倉庫並諸會社銀行倉庫
京城印刷所新築工場・京城本町五丁目

金網入硝子・縞板硝子
磨板硝子・雲板硝子
摺板硝子・雲板硝子

兵庫縣尼崎市
本社 極東硝子株式會社
朝鮮一手販賣店
協同組商業部 京城府南大門通五丁目

淫羊藿エキス

淫羊藿エキス 通稱三枝九葉草エキス
主効 人蔘に優る滋養强壯劑
定價
全國一手販賣 京城日報社代理部
京城特約店 山岸天佑堂
京城特約店 北島支店

優等清酒

釀造元 富安本店
發賣元 富安京城支店
京城永樂町二丁目

無煙炭一手販賣廣告
長水院無煙炭（粉、塊）
炭質優秀 價格低廉 出炭豐富
露頭附近試掘炭の分析にて此の結果を得たるものなれば現在採掘中のものはより以上優良なること論を俟たざるべし
價格は精々勉强可仕取纏め多量の場合は特に御相談可致現物先物の契約に應ず
一手販賣 朝鮮平壤本町
株式會社 中村組平壤支店

妻の心　三十二

六の四　小林蹴月作　武内桂舟畫

『それと申しますのも、罪は、妾の致らぬ爲めだと存じますから、必ず々良人や貴女方をお怨み申する心は御座いませんが、只這麼事が徐々大きく世間に知れますやうでは良人の地位信用にも拘はる事で御座いますし、折角選擧して下さいました皆様に對しても、面目次第も御座いませんので、成う事なら、穏便に事を濟ませたいと存じまして……ね』と、紀子は、伏目がちに膝の上の手巾を捻くりながら云ひ顫す。

若龍は、それを聞き了つて、暫時無言に唇を噛むのみであつたが、兎に角自分の落籍問題が直接の原因となつて、町川の身上に由々しき不名譽を及ぼし、脆弱い温柔い紀子に此の大心配をかけるばかりか、家庭内では日毎に親族會議の開き詰めと聽いては、何ぼ媚を賣り情を鬻ぐのが、本業の如く云ひ做さる、淺斜の女なりとて、其處に一脈の熱い血が通はずに居るべき筈があらう？殊に此の若龍が素性は、と云へば、憚りながら親三代の江戸ッ兒、俠と義とは、水道の鐵管から直接にその五體へ注ぎ込まれて、立て通す一本杉の意氣地は、餘所地から流れ込んだ雙り種とは先天的に組織を異にして居るのである‼　奥様、藝妓の眼にも涙は御座いますのよ‼口へは出さないが、心にはちやんと或る事の覺悟を定めて、若龍はやをら徐かに飲みさしの盃を取上げ、

『奥様、我儘を申して濟みませんが、どうせ乘り出したもんですから、もう一つ頂戴致しますわ』

『まあ、迂濶致しましたわ。一つと被仰らずに澤山召上つてそして、御遠慮のない所を打明けて下さいませ』

『ほ、ほ、ほ、藝妓なんてものは、隨分無作法な者ぞとお笑ひでせうね。』と、若龍は、紀子の酌して見るゝが儘に、二三杯をつゞけて、稍櫻の色のほのき初めたる頰桁を左袂の袖に抑へる眞似しながら、

『致しますと、奥様、妾が若しや貴女の旦那様と、心から底から添ひ遂げたいと云ふ希望を有つて居るものと致せば、貴女が妾の身體を一切お引受け下すつて、お邸へでもお伴れ下さると云ふ思召しなんで御座いますか？』

『……公然とは申す譯には參りませんでも、是非然う云ふ事に計ひたいと思ひますので……。』

『そして、妾を妹分にして、可愛がつてやらうと被仰つて下さるんで御座いますね。』

『貴女に取つては、お厭な事かも知れませんけれども、成らう事なら……。』

『ほ、ほ、ほ、お厭どころでは御座いません。冥加に餘つて嬉しい有がたい思召しだとは存じますんで御座いますが……。』と若龍は、又少時腕に手を當て、思案の蹈脚を長く見せたが、

『その御親切やらお心盡しのお蔭を承はつてから後、這麼事を申上げましては、何だか變にお取り遊ばすかも知れませんが……實の所を白状致しますと……妾にはあの町川さんと御關係致します前から、將來を約束致した一個の情夫が御座いますんで御座います。』と、口早に云ひきると等しく何の呪ひかは知らぬが、慌だしさうに盃を引取り、眼を瞑つて、ぐつと一息に飲み干したのである。

『ねッ、何と被仰るんです、若龍さん』と、紀子も、劣らぬ狼狽へらしい眼を瞠つて、

『そ、そ、そりや貴女、本統のお話なんで御座いますか。』

『何しに貴女をお欺し致すもんで御座いますか。奥様の前では申上げにくう御座いますけれども、町川さんはほんのお小使に困ります時の融通代りに、お世話をして頂いた丈の事で、眞實、妾の思ひ詰めて居りますお方と云ふのは、ちやんと他にあるので御座いますから、折角の思召しでは御座いますが、只今のお話は、お斷り致すより外は御座いません。』と、若龍はきつぱり――

内氣な紀子は、崖からでも突き落されたやうな顏して、二の句さへ繼げずに、只銚子持つ手先を顫はすのみである。

無佛送別俳句會

―七日塔洞公園青木堂にて―

『青嵐』

五點の句

陽に立てば山一ぱいの青嵐　雄川

三點の句

青嵐靜かに水に映りけり　雅城

二點一點の句

芹の花の丈けを青嵐沈む也　鳥堂
船頭舳に立ち青嵐人味ふ可し　同
無佛送る俳坐や窓の青嵐　鳥兎
屋城の馬繋けて壁の青嵐や　同
青嵐翠樹を倒さんこす湖面　雄川
峰近も晴るゝ此日の青嵐　虎耳
乘おくれ驛前閑に青嵐　雅城
一連の川に出でたり青嵐　梅子
青嵐四山に響く魚板かな　同

大同江

碧流に小舟流れ居り青嵐　鄙輔

『送別句』

夏の月脊中にしよつて君行くか　雄川
七月七日君に離愁の句をつくる　鳥兎
夢に入る淡水君に凉しかれ　同
居士去つて詩悲棋と疎し雲の峯　日池
木下闇言葉少なき別れかな　森堂
君を送る山下の徑や花茨　梅子
其聲は何處殘して杜鵑　雅城
去る君と絆なら、間を何に吼ゆ　梅子
白岳や居士送る日を夏雲湧く　静軒
去る君に山河にごとの雲の峯　虎耳
朝凉と何も手につかないで人々　鳥堂

留別　無佛

此處を去つて三千里外青嵐

○

高凝して白衣の人の夢に入る

文藝界

▲江口渙氏　自己經營の某江園山に滯在中の處無佛送別句會出席の爲め七日朝歸京す
▲雑誌『鳥文學』七日第四號を發行したりと

京夜吟　―其の十二―

梅雨

梅雨草を刈る落す指の水滴かな　水子
簷葉垂れて松葉を辷る梅雨の中　春樹
窗前を温く通りぬ梅雨の土間　迦南
梅雨寒の障子に日さし又開くる　田打夫
梅天や軒深く置く鉢の草　柑黄子

枇杷の實

枇杷熟るゝ葉に居る小さき蟲の數　青史
熟れし枇杷見出でし雨の對座哉　水子
枇杷熟るゝ大きく向きし枇杷の核　迦市
いつ捨てし枇杷の實生や藪日陰　春樹
軒鳥の去ぬかなし枇杷熟るゝよ　紫光
枇杷熟るゝ垣低くして直ぐ路上　田打夫
木風は夜の人に實枇杷哉　柑黄子

□湖南吟社例

大田七七、六於鳳骨庵

課題「夏の朝」「瀧殿」

釉て受ける佛花の露や夏の朝　桃雨
水溜すゝ語明や泉殿　同
夏の朝茶の別哉　十亭
湊江に艇積む船や夏の朝　白骨
瀧殿や緣に青葉のせまる處　同
瀧殿からむ丸木柱哉　小京
打たれて來て瀧殿流くや瀧の殿　同
朝虹や夏湖近く帆連れて　松濟
瀧殿やせゝらぐ石に小祠あり　同
草へ飛ぶ石屋の樋や夏の朝　雅堂
瀧殿に風あり二十日月涼し　同
沙浴びて松原通る夏の朝　待宵
瀧殿に垂添ふ風の先づ至る　千里
瀧殿の夜な婉怯ゆ物の聲　風骨
山に伐る神の榊や夏の朝　同
瀧殿や樹間の灯消ゆて居　雨苑

次回兼題『閑水』『新』各三句吐　七月十五日締切大田春日町一丁目森川桃雨氏宛投稿の事

院長 醫學士 森定吉
森病院（芙蓉醫院改め）
内科 小兒科 浣腸 隨意
京城明治町三丁目 舊鶴田醫院跡　電話二六二三番

日報歌壇

△　ながさだ

夜さなればほのかにありし日を憶ふ阿彌陀佛のかげの色かな
陽はめぐりひはめぐりゆくさまざまの人さまざまの影をおとして

△　京城　せい子

白百合の花はほのけくすぎし日の淡きおもひをこめて咲くがに
白百合の花をもだけてたゞ見るわれをつゝみて夕闇せまる

△　あづさ

柑橘色の山をめぐりてま夏まひる一筋清く漢江の流る
さやけくも夏の漢山見ゆる朝はつくに陽は照るなりけり
月白き夏の曠野に夏の虫こゝだ鳴くなり草のゆらげば
照き陽のまひる佗は沙あびつ庭の松葉牡丹みな紅きかも
いちやうに松葉牡丹は花さちて夕さりくれば風にふかるゝ

青嵐會同人第一の例會をたけし宅に開く會するもの すべて四名

○　ひで二
うなる兒の父にまもられ搖籃に睡光れる此の朝けかも

○　武郎
さ霜なる此の若木さへ吹く風の今日ぞ靜まるほぎごとある日

○　草雄
幸あれと我が祈るなる此の日はも地平に雲の白光りいつ

○　たけし
草の實をつみてかろらに吹く我の殺ろに高くひよどり鳴けり

新刊紹介（到着順）

▲朝鮮及滿洲（七月號）梅雨漫言（編輯室より）（釋尾旭邦）支那幣制改革と銀統一論の謬見（添田博士）邦人同化問題と日本の發展（澤柳博士）物價は如何にして決定さるゝか（河津博士）戰役の新世界と東洋問題（永井柳太郎）滿鮮鐵道統一策に一歩を進む（久保要長）朝鮮及支那巡遊所感（大口代議士）分著　其他諸氏の記事の外、ヒマラヤ山人の酒と女の上より見たる京城の名士諸君、七草生の京城に於ける矜の女は嘘を重れる毎に益々面白く、三本筋の奧さん訪問記、泥水から泥水へ等何れも面白し　二十五錢　京城南山町一の一四 其社

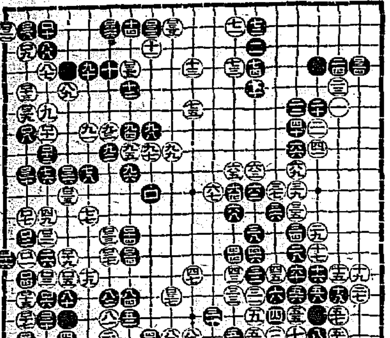
▲科學が生んだ獨逸の富源（河南休男著）本書は獨逸の長を擧げて獨逸に學ぶべき點を科學的に說明したるもにて時柄有益なる書なり三百餘頁（一圓　東京神田駿河臺東紅梅町六　東洋出版社）

▲西洋草花栽培法　栗田花水著　上下二編に別ち三十餘の插繪を挾み上編に土壤、肥料、繁殖法、下編には春夏秋の西洋花卉八種の培養法を明細に記載されたる書なり百八十餘頁（六十錢　東京橋本村木町三の十　求光堂書店）

▲商業發觀法（小須賀一郎著）本書は著者が多年の實驗を基礎とし正確なる例證を引いて其の據るべき所を明かにし實務上に於ける種々の缺陷及び災厄を未發に防ぐ可き方法を示したるものなり（金百二十頁　六十錢　東京橋本村木町三の十　求光堂書店）

碁戰（七）

（大正七年六月二十三日 京城日報主催於鳳棲會）　四段 喜多文子　四子 鮎貝房之進



○三十一 れ十三　●三十二 そ十三（粘ぐ）　○三十三 か十三　●三十四 わ十三　○三十五 た十　●三十六 た九　○三十七 が十三　●三十八 そ二　○三十九 そ六　●四十 そ九　○四十一 つ二　●四十二 な二　○四十三 ろ二　●四十四 ろ四　○四十五 わ三　●四十六 か二　○四十七 る十五　●四十八 り十六　○四十九 り十八　●五十 ぬ十九

讀者の領分

▲先日來賞紙に勸業債券川賦販賣取扱者等に付ては指定し難し（專務總監部）合第八十號にて一部改正）な御覧あのとが出て居りましたが、誠にとさもとかく存じますか。私共もつひ甘言に乘り其会社に月々拂込み一年、拂込の後解散を入中に聞き驚き其所を聞合の制戻を請求致し候處何の彼のと申し正むなく拂込金の四分の三の一割を受取泣れいり致し候、込みなさる他の御方にても、まだく他の如きは少しのお金ながら一生懸命拂込んでる方に付き會社にだまされてお出の方も有之べく

▲ノ郎すみ枝子に同答す　朝鮮官吏試驗に付ては大正三年十月、府令第百十四號官吏試驗規則（大正六年十月府令第）

▲資際をお話して御注意申します（杉上）▲當地の塵埃汲取方には別に時間の制限なき爲か日中市内を荷馬車が通行して居ます、戸を防ふあり臭氣甚だしく市の對面上何とか改良な希望致し度く殊に小店の如きは塵埃汲取り場所なく店より通行して吸む場合日中乘客ある時は甚だ不快な感じ居るも土地家屋狹き爲め致し方なし斷ろ家に限り早朝汲み取る樣御願致し度切に願上候（本町玉山生）▲慶北エスエス生よ、寫ばくば御住所を御知せ下さい、直に本舗も本のまゝ差上ます、私は鄙し代へて居ますから今は不用です（ほうし）▲八日銀行集會所前で五十錢（第一銀行製）を拾得しました御落の方は本社受付までお出で下さい（拾得生）▲本欄投書は簡單で簡潔に願ひ升（係）

銃　修繕　多年の經驗と完全設備　玉井銃砲工場　龍山元町二　電五三八

最新朝鮮地理

櫻岳 藤戸計太著

菊判クロース 全文字入 八百五十頁　定價金二圓　郵税十二錢

著者は地理研究に熱誠にして半島通にて全道に殆んど足蹟を印し言語、風俗、慣習の調査をなせる朝鮮通にて曾て學生時代に支那富源楊子江を著し盛名嘖々たりしものありしが今回同目の地理研究の結果を發表せり

一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして内容は第一本道に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族別、民籍、戸口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政、財政、經濟、產業、商業、交通等を記し第二編各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、產業、商業、戸口、著名山河等を記し第三編各地七百餘ケ所に於て沿革、位置、地勢、交通、商業、產物、戸口表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所、舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄としてアイウエオ別道府郡島面索引及内地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり

一本書は地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て音讀を附加し國語、朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り内鮮關係の密接なるを明白ならしめたり

一本書は内鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案内者たり指導書なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるをて各種學校、講習會の良參考書なり

一本書は警察官各方面の事情を得て取捨宜きに適し讀者をして通覽一過直に全島の事情を遺漏なく通曉せしめ行政に商工業に金融に經濟に運輸交通に便し遺憾なからしめたり

一本書は朝鮮を經營し又旅行せんとするものゝ爲めに充分なる調査研究資料を供し事業計畫實行に當り最良指針たり又旅行探險者をして安全なる進行をなさしめ又薄氷を蹈渉するの危險なからしめたり

一本書は全編五百頁の文を繙けば悉く之を覆ふ能はざるが如く凡て全道諸般の事項に關する詳細なる調査資料を供し

一本書は名山麗水名所古蹟に遊覽者の探勝歴史家の探究に便せり

一本書は資材正確周到にして各地の事情に精通するを得べく一然に活動するを得せしむることを注意し詩文を各所に配在して序次懇切を極め多趣ならしめ誠に空前の好著なりとす朝鮮事情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して左右に備へられんことを望む

發行所　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番
取次所　大阪屋號　日韓書房

建築金物、土工用具一式
和洋金物商　京城本町三丁目　佐藤牛次郎商店　電話二四三番　電略（サト）　振替口座京城一〇二〇番

鼻が高くなる　隆鼻器無料貸與

鼻は人生の花で最も大切な物で幸と不幸の分れ道は實に鼻の格好一つである青年男女の内で▲獅子鼻▲だんご鼻▲わし鼻▲天狗鼻▲其他鼻の格好の惡き人は注射や隆鼻術でなく自宅で人知らぬ間に何人にても試し得らるゝ程立派に鼻の高くなる新案特許の隆鼻器を希望者に無料で貸與す郵券二錢封入申込めば直ちに（日本全部郵送す）東京神田猿樂町一丁目二番地　東京醫療器械製作所

内科 外科 小兒科 花柳病 皮膚病
京城本町四丁目（元金井眼科醫院跡）　内田病院　電話三一六番

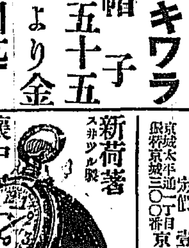
最新流行　ムキワラ帽子　金五十五錢より金四圓迄　パナマ帽子　金一圓廿錢より金五圓廿錢迄
新荷到著　▲鳥打帽子　其他最新形澤山取揃へ居り候
御注文の際は柄向（縞とか無地など）色合御嗜好及價格頭廻り寸法御申越被下度候はゞ適當の品見計ひ御送付可申上候
送料　鮮内十二錢　外三十錢
京城大平通　京城日報代理部　電話六〇〇九番・振替京城三〇〇番

開店披露
農産物 海産物 貿易商及委託販賣
奉天昭德大街西二條十七號地　德喜洋行
株式會社平安攻玉園出張所
内地朝鮮産白米果物類
極て御便利に取扱ひ一般顧客の御滿足を得る樣相勉め候間多少に拘らず御注文の程伏而願上候

確實なる貴金屬は信用ある弊店にて求められよ

本町二丁目　村木時計舗　京城支店　長電四七一　振替京三二九〇

好評經濟的事務用　金ペン付　パインビジネスペン　定價壹圓九拾五錢
京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

新荷著　懷中時計　スキツル製

アンクル機械　懷中時計（▲印はラジューム入）
ニッケル側十八　二、五〇　片蓋アンクル
同　三、五〇　同シリンダー
同　四、五〇　同アンクル
同　七、〇〇　同
十七　六、〇〇　同
同　七、五〇　同
同　二、〇〇　同
同　五、〇〇　同
同　八、〇〇　同
十六　三、〇〇　同
十九　三、〇〇　同
十七　六、〇〇　同（目醒）
十八　二、〇〇　同
十八　四、五〇　同
十八　五、五〇　片蓋
百十圓以上三百五十圓迄　金
腕巻時計（▲印はラジューム付）
ニッケル側十三　四、五〇　片蓋シリンダー
同　七、三〇　同
同　七、六〇　同アンクル
十四　〇、〇〇　同シリンダー
十三　八、五〇　同アンクル
同　九、六〇　同
同　四、〇〇　同
同　六、〇〇　同
同　五、〇〇　同
右は今回新着の商品にて本舗獨特の品に御座候他店に無き品の代りして安く被御付候地方御注文には代金引換小包郵便にて御送附可申上候
時計蓄音器ミシン機械自轉車洋酒各國貨直輸入商　インクレッシー商會　本店京城本町二丁目　電九七二

釜山出帆廣告（汽船）
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　七月五日後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　七月十五日後四時出
◎佐須奈、嚴原、博多行　天眞丸　七月四日午後十時出
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

大阪商船汽船出帆
△神戸、大阪行（仁川出帆）　友盛丸　七月廿二日　後五時出
×釜山大阪行　安東丸　七月十一日　後五時出
◎清津行（元山出帆）　平安丸　七月十三日　後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　七月十九日　後九時出
◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）　湖北丸　七月十二日　前六時出
基隆丸　七月廿四日　後四時出
内地各港出帆は要航路
御注意
歐洲行　南洋行　濠洲行　北米行　南米行　孟買行
每年四回　每年四回　每月一回　每月二回　每月一回　每月一回
大阪商船株式會社仁川支店　電話二五五〇番

尼崎汽船出帆（仁川）
下關、大阪直行　第一大有丸　月　日後四時出
群山、下關、神戸、大阪行　月　日後四時出

朝鮮郵船出帆
◎浦汐行（大阪發門司釜山元山城津經由）　越後丸　七月十五日　釜山發
◎雄基行　雄基丸　七月十七日　元山發
京畿丸　七月十三日　元山發
◎元山雄基線　鏡城丸　七月十一日　元山發
◎大阪行（神戸釜山經由）　山陽丸　七月十四日　釜山發
◎金剛山遊覽便　長城丸　七月十三日　元山發
◎濟州島行　咸鏡丸　七月十七日　釜山發
◎釜山浦項線　江陵丸　毎日　釜山發
◎濟州島行　昌平丸　七月十六日　釜山發
◎濟州島行　公州丸　七月十九日　木浦發
◎釜山麗水線　海州丸　毎日　釜山發
◎木浦麗水線　順天丸　七月十三日　木浦發
◎多島海行　公州丸　七月十四日　木浦發
◎木浦行　慶興丸　七月十八日　仁川發
◎海州行　新江丸　毎日一回　仁川發
◎鎭南浦行　平壤丸　七月十二日　元山發
◎江原行　江原丸　七月十二日　仁川發
朝鮮郵船株式會社　京城南大門通　電話一九五二

日本郵船出帆（仁川）
◎大連、天津牛莊行　相模丸　七月十九日
酒田丸　七月十一日
×高砂丸　七月廿九日（乘客御斷）
仁川海岸町二丁目（電話十番）　郵船回漕部

阿波共同汽船出帆（仁川）
大連直行（關東都督府命令船）　廿一共同丸　七月十二日　前出港　後入港
仁川代理店　京城取次店